

令和7年度 事業報告

令和7年度の事業報告をさせていただきます。高齢者福祉施設を取り巻く環境は、介護人材不足の深刻化や長引く物価高騰の影響が依然として続いており、令和7年度においても厳しい経営環境に変わりはありません。

このような状況の中、当法人では令和5・6年度にわたり導入したICT機器（見守りカメラ・眠りスキャン・インカム・センサーベッド96床）の本格活用を推進し、生産性向上と業務改善に取り組んでまいりました。ICTデータの活用は特養・ショートステイ事業部における安全管理や介護の質向上に着実に繋がっており、今後も国が求める生産性向上の方針に沿ってICTの更なる活用と業務改善を継続し、収入の安定・向上に結びつけてまいります。

人材確保については、正職員採用にとどまらず、介護アシスタントの活用や特定技能実習生の受け入れ（令和7年度インドネシア人3名、令和8年4月にさらに3名）を推進しています。また今後はスポットバイトなど多様な働き方を積極的に取り入れ、様々な雇用形態の人材が活躍できる体制づくりを進めてまいります。一方で、人材紹介手数料や時間外勤務費用を含む人件費の増加が収支を圧迫しており、採用・定着・育成の仕組みを整えることで、これらのコスト削減につなげることが急務となっています。

法人全体の業績は、事業収入614,790,492円、事業活動資金収支差額18,711,476円、当期資金収支差額△8,093,559円となりました。事業収入については前年度の591,064,361円から約2,372万円の増収となり、法人として初めて6億円を超える収入を達成することができました。一方、支出面では業務効率化を目的としたユニバス浴槽の新規導入（補助金活用）をはじめ、給水ポンプ・LED改修工事・コピー機入替等の設備更新を行っており、人件費・物価高騰への対応とあわせ、引き続き収支の安定化に向けた取り組みが必要な状況です。

各事業部における事業報告は以下の通りです。

【 特養事業部 特養・ショートステイ 】

特養事業部における令和7年度の介護収入は407,257,047円となり、前年度と比較して6,278,658円の増加となりました。一方で、11月から1月にかけての延べ入院日数が917日間と前年度の約2倍に達しており、感染症の増加がその主な要因でした。年間を通じてみると、褥瘡・尿路感染・誤嚥性肺炎を起因とする入院も多く、適切なケアと処置の徹底による予防可能な入院の削減が引き続き課題です。

稼働率については、入院の増加・長期化の影響を受け、特養単体での年度平均稼働率は89.9%と前年度を下回る結果となりました。しかしながら、特養の空床を活用したショートステイによる補完機能は今年度も引き続き有効に働いており、両事業を合算した全体稼働

率は 93.8%を確保することができました。入院の長期化や重症化（退院できずに退所となる事例）が増加傾向にある中、空床期間における柔軟な運用と新規入居・ショートステイ利用者の速やかな受入れ体制の維持が引き続き重要な課題です。

安全管理においては、令和 5 年度に導入した ICT カメラ・眠りスキャン・インカム、令和 6 年度に導入したセンサーベッドの活用が定着し、転倒の分析・予防対策が進んだことで施設内事故件数は前年度より減少しました。今後は ICT データの活用を事故防止にとどまらず、業務効率化・職員負担軽減へとさらに広げてまいります。

人材の確保・育成については、採用後短期間での離職が続いており、新規入職者への教育体制の整備とあわせ、既存職員を含めた継続的な教育システムの構築が重要課題です。職員が長く活躍できる職場環境づくりを、法人全体の取り組みと連携しながら推進してまいります。

【 デイサービス事業所 】

目標収入 5,456 万円に対し、実績は 5,250 万円となり、目標達成率は 96.2%となりました。前年度の実績 4,638 万円と比較して約 612 万円の増収となっており、収入面では大幅な改善を達成することができました。

月別の収入・稼働率の推移を見ると、前半（4 月～10 月）は好調に推移した一方、冬季（11 月～2 月）にかけてやや落ち込む傾向が見られましたが、3 月には回復して年度を締めくくることができました。なお、年間稼働率の長期的な推移を見ると、令和 2 年度の 50.4%を底として回復傾向が続いており、令和 7 年度の 81.15%は過去 10 年以上で最高水準の稼働率となりました。

令和 7 年 4 月時点の登録者数は 69 名でしたが、令和 8 年 3 月末現在では 77 名となり、8 名の増加となりました。体験利用者は 35 名にのぼり、そのうち新規利用者は要介護 20 名・要支援 12 名の計 32 名を確保することができました。一方、廃止者は要介護 18 名・要支援 4 名の計 22 名となりました。また、利用開始後に複数回の増回がみられる利用者が前年度の 10 名から今年度は 17 名に増加しており、デイサービスの日常利用として定着される方が着実に増えてきていることがうかがえます。

年間の延べ利用者数は、要介護 5,479 名・要支援 779 名の合計 6,258 名となりました。平均稼働率は 81.17%と、前年度の 70.9%を約 10 ポイント上回り、稼働率の大幅な改善を実現することができました。

【居宅介護支援事業所】

令和 7 年度は、目標収入 30,008,000 円に対し、実績 30,723,990 円となり、目標達成率 102%と目標を上回る結果となりました。

年度の特記事項として、令和 7 年 7 月に百合の会病院居宅介護支援事業所が閉鎖したことに伴い、20 件の受け入れを行ったことが件数増の主な要因となりました。

令和7年度の契約件数は81件、廃止者が55名、年間を通じて26件の増加となりました。7月以降は月260万円台の収入を維持し続けることができ、長年の目標としていた、5名体制で月250万円という収入水準を初めて達成し、年間収入3,000万円を超えることができました。

新規依頼については、過去に相談のみに関わった方や、日頃よりお付き合いのある病院・施設からのご依頼が多く、法人内外のネットワークが着実に活かされた結果となっています。

また、同法人内の連携においては、病院からの退院時にショートステイを利用される際の担当を当事業所が受けるケースが多く、他施設からも定期的な紹介をいただきます。そのため、終了と新規が生じる増減はあるものの、全体としては横ばいもしくは微増の傾向で推移しています。

収入構造においては、要支援の件数を抑えつつ介護報酬単価の高い要介護の割合を増やす取り組みを継続しており、これも収入増につながっています。

【グループホーム事業所】

体調管理の徹底と早期受診による入院者の減少については、前年度に引き続き取り組んできました。その結果、今年度の入院件数は7件、平均入院日数は17.9日となり、前年度（入院件数14件・平均入院日数13.4日）と比較すると入院件数は半減し、取り組みの成果が表れた一年となりました。

退所者数については前年度の7名に対し今年度は5名と減少しました。空床期間については、前年度末に退所された3名分の空床が年度をまたいで4月上旬まで続いたことで、年度当初から複数室が同時に空いている状態となりました。年度内の空床日数は69日ですが、前年度末からの繰り越し分を含めると実質221日分の空床が生じており、入所までの平均期間も約27.6日に上るなど、待機者確保の難しさが続いた状況でした。しかしながら、前年度の空床日数376日と比較すると大幅に改善しており、他部署との連携強化による待機者確保の取り組みが着実に成果を上げています。

収入面においては、年度予算92,540,000円に対し実績は93,215,696円、予算達成率100.73%となりました。前年度実績（90,849,112円）と比較しても約236万円の増収となっており、空床日数の削減が収入の安定につながったものと考えられます。

今後も待機者の確保について他部署との連携を強化し、安定した入居体制を維持するとともに、認知症ケアに関しては専門研修を通じて職員のスキル向上を図り、日々の実践に活かしていきます。

【介護予防センター『百合が原』『屯田』】

両センター主催の「すこやか倶楽部」や地域活動の参加者数は、前年度比94名減の4,153名となりました（百合が原△249名、屯田+155名）。百合が原の減少は冬期間の天候不良

や地震の影響によるものですが、屯田では地区機関紙への掲載や口コミにより新規参加者が増加し、今年度の新規参加者は82名に上りました。地域支援者数は前年度比628名減の1,998名となりましたが、これは地域活動の自主化を促進するという札幌市の方針に沿った取組みの結果であり、今後は新たな地域活動の掘り起こしを進めていきます。

また、体力測定結果のフィードバックや理学療法士による運動指導、フレイル予防リーフレットや脳トレ冊子の配布、青空ウォーキング教室の開催など多彩な取組みを行い、これらを通じて活動継続の意欲促進やセルフケアの充実など、量より質にこだわった支援を行いました。両センター共催のリーダー意見交換会や太極拳サークルによるすこやか倶楽部でのデモンストレーションなど、地域の方々が主体的に参加できる場の創出にも取り組みました。

一方で、介護予防に参加するきっかけや機会がないために活動に参加できていない高齢者も依然として多く存在しています。今後は、そうした方々を新たな地域資源へと結びつけるとともに、継続的な相談窓口の周知を図っていく方針です。

当法人の基本理念である『もっと楽しく』『もっと美味しく』『もっと美しく』を守り、高齢者福祉サービスを提供していく上でも、法人全体としてお客様と職員、そして地域との「満足と満足の交換」を目指し、社会福祉法人百合の会としての風土・文化づくりを続けてまいります。

I 施設概要

1 職員配置状況

(1) 特別養護老人ホーム

令和8年3月31日現在 (単位:人)

職 種	施設 長	事務 員	介護 支援 専門員	生活 相談 員	介護 職員	看護 職員	機能 訓練 指導員	管理 栄養士	医 師	調 理 員	そ の 他	計
基準定数	1	-	1	1	32		1	1	1	-	-	38
常 勤	1	2(1)	1	1	28	4	1	1	0	委託	1	40
非 常 勤	0	0	0	0	6	1	0	0	1	-	9	17
常勤換算	1	2	1	1	35.8		1	1	-	-	-	2.68:1

※ その他は、パート職員(洗濯、喫茶)

(2) 通所介護事業所 一般・介護予防一般型

令和8年3月31日現在 (単位:人)

職 種	センター長	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	計
基準定数	(1)	1	4	1	(1)	5
常 勤	1 (1)	2 (2)	7 (2)	1 (4)	1 (1)	8 (10)
非 常 勤	0	0	1	0	0	1

※()は兼務

(3) 介護予防センター百合が原

令和8年3月31日現在 (単位:人)

職 種	管理者	生活相談員	計
基準定数	(1)	2	2
常 勤	(1)	2	2

※()は兼務

(4) 介護予防センター屯田

令和8年3月31日現在 (単位:人)

職 種	管理者	生活相談員	計
基準定数	(1)	2	2
常 勤	(1)	2	2

※()は兼務

(5) 居宅介護支援事業所

令和8年3月31日現在 (単位:人)

職 種	管理者	介護支援専門員	計
基準定数	(1)	-	-
常 勤	(1)	5	5

※()は兼務

(6) 認知症対応型生活介護事業所（グループホーム）

《かっこう》

令和8年3月31日現在（単位：人）

職 種	管理者	計画作成担当者	介護職員	計	常勤換算
基準定数	1	(1)	3	4	7.2人
常 勤	1 (1)	1 (1)	6 (1)	8 (3)	対入居者比 1.12:1
非 常 勤	0	0	1	0	

※（ ）は兼務

《ゆ り》

令和8年3月31日現在（単位人）

職 種	管理者	計画作成担当者	介護職員	計	常勤換算
基準定数	1	(1)	3	4	7.2人
常 勤	1 (1)	1 (1)	6 (1)	7 (3)	対入居者比 1.28:1
非 常 勤	0	0	1	1	

※（ ）は兼

2 職員研修実施状況

(1) 施設内研修の状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

開催月日	研修会の名称	担 当	参加職種	参加人数
5/26	・感染症予防研修会 「医療・介護現場における手指衛生の重要性と実践」	講師：株式会社サラヤ	全職種	36名
6/13	・虐待研修 事例検討「グループワーク」	講師：身体拘束廃止虐待防止委員会	全職種	31名
7/14	・介護技術研修会 「移乗について」	講師：アビリティーズ(株)	全職種	30名
8/25	・身体拘束研修 「身体拘束廃止の研修」	講師：身体拘束虐待防止委員会	全職種	28名
8/28	・職員会議 「窒息時の対応について」	講師：保田課長他	全職種	35名
8/29	・事故防止研修 「事例を通して学ぶリスク予防」	講師：事故防止委員会	全職種	35名
9/19	・健康増進&免疫対策セミナー 「腸を健康にしてくれる水とは？」	講師：株式会社日本トリム 札幌支店	全職種	33名
10/20	・災害時研修・BCP 研修 「災害対策・BCP について」	講師：防災委員会	全職種	32名
10/27	・褥瘡防止研修 「褥瘡について」	講師：株式会社モルテン	全職種	38名
12/18	・認知症と認知症ケア研修 「認知症について、グループワーク」	講師：デイサービス 唐川氏	全職種	32名
1/6	・事故防止研修 「事故防止と対応についてのグループワーク」	講師：事故防止委員会	全職種	33名
1/19	・感染症・食中毒予防研修 「ノロ・嘔吐時の感染対策について」	講師：感染対策委員会	全職種	30名
1/28	AED 使用説明会 ※機種変更に伴う使用説明会	講師：フクダ電子株式会社	全職種	15名

3/12	・倫理と法令遵守・プライバシー研修 ・BCP 研修	講師：施設長・事務長	全職種	29名
3/31	・身体拘束防止研修 「身体拘束廃止研修」	講師：身体拘束虐待防止 委員会	全職種	31名

(2) 施設外研修の状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位：人)

月 日	研 修 名	主 催 団 体	参 加 職 種	人数
8/3	医療的ケア教員研修	サンシャイン総合学園	医務室(保田課長)	1
8/26	ネットワークを本気で考える・その支援本にケアの仕事?“善意の延長”が制度を壊すその前	株式会社ケアレジェ	居宅(今井)	1
9/13	虐待防止研修	公益社団法人 北海道社会福祉協議会事務局	相談室(小林係長) 2階(前田副主任)	2
9/13	ふまねっと インストラクター講習会	認定 NPO 法人 ふまねっと	予防センター (齋藤)	1
9/30	令和7年度 救急法セミナー	社会福祉法人 札幌社会福祉協議会 施設福祉部会	特養事業部(北野原・岡田)	2
10/2	2025年度 札幌市高齢者虐待対応関係職員研修	公益社団法人 北海道社会福祉協議会事務局	居宅(林主任)	1
10/22	人生会議について	札幌市医師会東区地域連絡協議会一	居宅(佐藤・今井)	2
12/8	令和7年度 若年性認知症の対応に関する在宅介護従事者向け研修会	札幌市保険福祉局 高齢健康福祉部介護保険課	居宅(有賀)	1
3/11 3/13	2026年度 処遇改善加算と介護保険制度改正の要点	WHILL 株式会社	居宅(全職員)	5

3 実習生受入れ状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位：人)

学校等の名称	受入月	実人数	延日数	内 容
札幌医科大学 保険医療学部2年	4月	4名	1日	特養実習
北海道福祉大学校 介護福祉士科2年生	6月	2名	25日	特養介護実習
北海道福祉大学校 介護福祉士科1年生	10月	2名	20日	特養介護実習
合 計		8名	46日	

4 施設来訪者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位：人)

月	目 的				合 計	昨年度
	面会	オンライン面会	その他			
4月	2	3	0		5	204
5月	58	3	0		61	254
6月	216	3	0		219	27
7月	235	3	0		238	223
8月	195	3	0		198	264
9月	217	3	0		220	345
10月	225	3	0		228	15

11 月		62	3	0		65	317
12 月		229	3	0		232	175
1 月		84	3	0		87	65
2 月		55	3	0		58	240
3 月		225	3	0		228	277
		1803	36	0		1839	2406

Ⅱ 部門別事業報告

1 事務管理部門

(1) 方針について

安定した施設運営を目標に、効率よく無駄のない業務を行い、顧客満足の向上を常に考え、他部門へのバックアップ体制を整える。

(2) 年間目標

- ・施設設備、機器、備品などの保守・管理、物品の修理交換、受払いに関し迅速・適切に行えた。
- ・他セクションとの連携を密にし、連絡・報告漏れのないよう適切な業務を今後も継続する。

(3) 年間計画について

- ・理事会、評議員会、監事監査について、計画通り実施する事が出来た。
- ・職員の健康診断、各会議について予定通り実施出来た。
- ・札幌市防災協会立ち合いのもと防災訓練を実施した。今後も継続して訓練を実施する。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

分類別苦情相談件数	件数	内容別苦情相談件数	件数
苦 情	0 件	職員の対応	0 件
合 計	0 件	合 計	0 件

(5) 活動状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月	法 人 関 係	施 設 関 係	各 種 委 員 会
4		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア、職員会議
5	令和6年度決算・事業報告 (案) 令和6年度監事監査 理事会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策、職員会議
6	理事会、評議員会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア、職員会議
7		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策・職員会議
8	第1四半期監事監査	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・職員会議

9	理事会、評議員会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養・防災災害対策
10		職員健康診断 経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・職員会議
11		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止・ 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策、職員会議
12	第2四半期監事監査 理事会	経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア、職員会議
1		経営運営会議	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策、職員会議
2		経営運営会議 防災訓練 BCP 机上訓練	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア、職員会議、
3	第3四半期監事監査 令和8年度事業計画・収支予 算 理事会	経営運営会議 職員健康診断 防災訓練 BCP 机上訓練	研修・給食・広報・身体拘束廃止 行事实行・感染対策・安全衛生・事故防止 褥瘡対策・栄養ケア・防災災害対策、職員会議

2 特養事業部門

1) 生活介護室

・特養2階すずらん・ラベンダーユニット

(1) 処遇方針について

- ・ICT 活用し職員間コミュニケーションを図りより良いケアを提供できた。ご家族様との関わりも深め、入居者との関わりも大切に安心して過ごす事が出来た。

(2) 処遇目標について

- ・ICT 導入により職員間のコミュニケーション図れ、眠り SCAN を活用しながら情報を得て事故防止などに努めた。眠り SCAN 活用し入眠状況の確認をし入居者の生活リズムの把握にも繋がった。
- ・個々のニーズを把握しケアの提供に努めた。介護記録の質の向上は不足していた為、来年度も課題となる。
- ・日々の関わりからの情報を個別ケアに活かす様フロア内情報共有に努めた。
- ・事故防止や褥瘡予防に努めたが、褥瘡発生者が多く同様の事故が多く発生しており来年度も課題となる。褥瘡への知識、理解が必要である。
- ・インフルエンザやコロナウイルス感染症蔓延により感染予防対策の知識、対応が不足していたと思われる。正しい知識、正しい対応を徹底していくよう全職員が定期的に研修を行う必要がある。
- ・感染対策で地域交流は今年度も実施出来なかった。個別誕生会は感染対応の関係等で時期が遅れてしまう事もあったが、感染対応解除後、日程を組み昨年より実施する事が出来た。
- ・新たな取り組みが出来ず今後は入居者様のQOL向上出来るように取り組んでいく。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスや感染症等の発症によりもちつき、節分行事の実施が出来なかった。他の行事

は実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

実施月		4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	合 計	昨年度
実施 件数	ラベンダー	3	2	5	0	2	2	1	0	0	3	0	4	22	17
	すずらん	5	3	1	1	1	2	0	0	1	1	0	4	19	12
	合計	8	5	6	1	3	4	1	0	1	4	0	8	41	29

(5) 事故・ヒヤリ事故報告 (ショートステイ含む)

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故報告		昨年度	発生状況別事故件数		昨年度	発生場所別件数		昨年度
転倒・転落	39 (3)	73 (2)	介助中	49	75 (6)	居室	77 (2)	126 (6)
ヒヤリ転倒・転落	0	3	自立動作中	69 (3)	110 (3)	食堂	22	55
け が	2	18 (6)	臥床中	0	0	浴室	3	11 (1)
ヒヤリけが	0	0	その他・不明	4	15	トイレ	11 (1)	6 (2)
異食・誤飲	0	6				廊下	6	0
ヒヤリ異食・誤飲	0	0				その他・不明	3	2
誤薬	5	15						
ヒヤリ行方不明	0	1						
爪切り	2	0						
傷・痣	65	69						
その他	9	15 (1)						
合 計	122 (3)	200 (9)	合 計	122 (3)	200 (9)	合 計	122 (3)	200 (9)

※ () 内はひび・骨折、骨折(疑)等

① 事故内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	事故対象者	事故内容	結 果
R7/4	ラベンダー 入居者	車椅子へ移乗後、独歩で歩かれ転倒。 眉尻裂傷、左鎖骨骨折にてバンド固定。	施設賠償の有・無
R7/4	ラベンダー ショート	ベッドよりずり落ち	施設賠償の有・無
R7/4	ラベンダー ショート	食席より立ち上がりその場で床に座り込む	施設賠償の有・無
R7/5	すずらん 入居者	枕元に錠剤あり落葉	施設賠償の有・無
R7/5	ラベンダー 入居者	薬ケースに薬残っている。落葉	施設賠償の有・無
R7/5	ラベンダー 入居者	車椅子乗車中滑るよう床に座り込む	施設賠償の有・無
R7/5	ラベンダー 入居者	トイレ内で転倒	施設賠償の有・無
R7/5	ラベンダー 入居者	車椅子移動介助中姿勢崩れそのまま倒れ込む	施設賠償の有・無
R7/5	ラベンダー 入居者	居室入り口まで歩かれ転倒	施設賠償の有・無
R7/6	ラベンダー 入居者	センサー作動にて訪室もすでに転倒	施設賠償の有・無
R7/6	ラベンダー 入居者	車椅子自操時姿勢崩れずり落ち	施設賠償の有・無
R7/7	すずらん 入居者	センサー作動にて訪室すると床にずり落ち	施設賠償の有・無
R7/7	すずらん 入居者	食堂にて立ち上がりそのまま転倒	施設賠償の有・無

R7/7	ラベンダー	入居者	ゼリーにて詰まり	施設賠償の有・無
R7/7	ラベンダー	入居者	センサー作動にて訪室すると床にずり落ち	施設賠償の有・無
R7/7	すずらん	入居者	排便あったが見逃し下剤追加してしまう	施設賠償の有・無
R7/8	ラベンダー	入居者	排便カウントミスにより浣腸施行	施設賠償の有・無
R7/8	すずらん	入居者	理美容の方が車椅子移動中ずり落ち	施設賠償の有・無
R7/8	すずらん	入居者	靴下脱いだ際に爪剥がれ	施設賠償の有・無
R7/9	ラベンダー	入居者	食堂にて立ち上がりそのまま転倒	施設賠償の有・無
R7/9	すずらん	ショート	汁粥対応だったが通常食提供	施設賠償の有・無
R7/9	すずらん	入居者	居室内に錠剤あり落葉	施設賠償の有・無
R7/9	すずらん	入居者	塗り腕に薬残っており不明薬	施設賠償の有・無
R7/9	すずらん	入居者	居室にて転倒	施設賠償の有・無
R7/9	すずらん	入居者	食堂にて立ち上がりそのまま転倒	施設賠償の有・無
R7/10	すずらん	入居者	賞味期限切れのおやつを提供	施設賠償の有・無
R7/10	ラベンダー	入居者	ずり落ちによりバルーンカテーター抜去	施設賠償の有・無
R7/11	すずらん	入居者	右側頭部打撲 3cm大の変色	施設賠償の有・無
R7/11	すずらん	入居者	ポータブルトイレに座り損ねる様に転倒	施設賠償の有・無
R7/11	ラベンダー	ショート	食堂にて転倒	施設賠償の有・無
R7/11	ラベンダー	入居者	食堂にて転倒	施設賠償の有・無
R7/12	すずらん	ショート	トイレ便座に座り損ねる	施設賠償の有・無
R7/12	すずらん	ショート	車椅子に座り損ねる	施設賠償の有・無
R7/12	すずらん	ショート	センサー作動にて訪室すると床に尻もちつかれる	施設賠償の有・無
R7/12	すずらん	ショート	食堂にて歩かれそのまま転倒	施設賠償の有・無
R8/1	ラベンダー	入居者	他者の薬を誤薬	施設賠償の有・無
R8/1	ラベンダー	ショート	ベッドを背に床に尻もちをつかれる	施設賠償の有・無
R8/1	ラベンダー	ショート	床に長座位になられている	施設賠償の有・無
R8/1	ラベンダー	ショート	ポータブルトイレ使用時滑って転倒	施設賠償の有・無
R8/1	ラベンダー	入居者	体動によりバルーンカテーター抜去	施設賠償の有・無
R8/1	ラベンダー	ショート	向かいの方とのベッドの間で転倒	施設賠償の有・無
R8/1	すずらん	入居者	爪切りにて皮膚切り出血	施設賠償の有・無
R8/2	ラベンダー	入居者	居室入り口にて転倒	施設賠償の有・無
R8/2	ラベンダー	入居者	ベッドよりずり落ち	施設賠償の有・無
R8/2	ラベンダー	入居者	車椅子へ移乗しようとされ尻もち	施設賠償の有・無
R8/2	すずらん	入居者	ポータブルトイレを車椅子代わりに操作し転倒	施設賠償の有・無
R8/2	すずらん	入居者	汁粥対応を通常提供する	施設賠償の有・無
R8/2	すずらん	入居者	センサー作動にて訪室もすでに床に尻もち	施設賠償の有・無
R8/2	すずらん	入居者	居室入り口で転倒	施設賠償の有・無

R8/2	すずらん	ショート	食事配膳前に下膳してしまう	施設賠償の有・無
R8/2	すずらん	入居者	食堂から移動され他者の居室にて転倒	施設賠償の有・無
R8/3	ラベンダー	入居者	食堂にて転倒	施設賠償の有・無
R8/3	ラベンダー	入居者	センサー作動にて訪室もすでに戻り	施設賠償の有・無
R8/3	ラベンダー	入居者	排便カウントミスにより下剤追加されなかった	施設賠償の有・無
R8/3	ラベンダー	入居者	排便転記されておらず下剤追加してしまう	施設賠償の有・無

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別苦情相談件数	件数	昨年度	内容別苦情相談件数	件数	昨年度
苦 情	1	0	職員の対応	1	2
ヒヤリ苦情	0	0	貴重品紛失	0	1
トラブル	0	2			
ヒヤリトラブル	0	1			
合 計	1	3	合 計	1	3

② 苦情内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	申し出者	申し出内容
R7/7/3	特養入居者様	入浴時、浴槽内のお湯の温度が熱く申し出たが職員すぐに対応しなかった。

・特養3階鶴・亀ユニット

(1) 処遇方針について

- ・入居者個々の生活を見つめ、より主体性のある人間らしい生活を送って頂けるよう工夫をこらしたサービスの提供を行う事が出来た。また、感染症対策とともに入居者がより快適に過ごして頂けるような環境整備にも尽力する事が出来た。

(2) 処遇目標について

- ・入居者個々のニーズに応えられるよう、カンファレンスや日常的な情報共有など柔軟な話し合いが出来ていた。
- ・業務的な介助になってしまう場面が見られたため、個別ケアの意識をより高め、細やかなサービス提供へと繋げていく必要がある。
- ・入居者が安心して過ごして頂けるよう、言葉遣いや身なりなどの意識を高めより良い環境とすることが出来るよう、職員同士意識して対応した。
- ・ICT 機器の導入により、事故分析を効率的に行う事が出来るようになり、効果的な対策を講じる事が出来た。
- ・新型コロナウイルスの影響により地域交流については実施できなかったが、入居者への転嫁を行い、行事など精力的に行う事ができた。

(3) 年間計画について

新型コロナウイルスや感染症等の発症により中止や縮小して実施した行事もあるが、概ね実施出来た。

(4) 個別誕生会報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年度
実施件数	鶴	2	1	0	0	1	0	0	2	1	1	0	8	8
	亀	4	0	2	1	3	1	0	4	0	2	2	19	14
	合計	6	1	2	1	3	1	0	4	2	3	1	27	22

(5) 事故・ヒヤリ事故報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故報告		昨年度	発生状況別事故件数		昨年度	発生場所別事故件数		昨年度
転倒・転落	69(2)	56(2)	介助中	88(1)	98(2)	居 室	109(2)	115(4)
ヒヤリ転倒・転落	1	0	自立動作中	112(2)	101(1)	食 堂	58	57
け が	10(1)	11(2)	臥床中	1	18(1)	浴 室	18	2
ヒヤリけが	0	0	その他・不明	1	7	トイレ	15	27
異食・誤飲	2	5				廊 下	2(1)	2
ヒヤリ異食・誤飲	0	1				その他・不明	0	21
誤 薬	8	18						
ヒヤリ行方不明	6	1						
爪切り	2	1						
傷・痣	98	131						
その他	6	0						
合 計	202(3)	224(4)	合 計	202(3)	224(4)	合 計	202(3)	224(4)

※（ ）内はひび・骨折、骨折（疑）等

① 事故内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	対象者	内 容	結 果
R7/4	亀	入居者 亀ユニット食堂にて落葉発見。融解しており薬名は不明。	施設賠償の有・無
R7/4	亀	入居者 食席から立ち上がり、左側方へ転倒。	施設賠償の有・無
R7/4	鶴	入居者 配薬BOXに錠剤1錠残っており、未服薬となる。	施設賠償の有・無
R7/4	亀	入居者 爪切りにて皮膚を切ってしまい出血。	施設賠償の有・無
R7/4	鶴	入居者 昼食後薬で他者の内服薬を服用させてしまう誤薬。	施設賠償の有・無
R7/4	亀	入居者 食席から立ち上がり、転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	亀	入居者 トイレ誘導時、左前腕に表皮剥離発見。	施設賠償の有・無
R7/5	亀	入居者 食堂にて立ち上がり転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	亀	入居者 ベッドより起き上がり、数歩歩いた所で転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	鶴	入居者 朝食後薬と昼食後薬のセットミスによる誤薬。	施設賠償の有・無
R7/5	鶴	入居者 ベッドより起き上がり、靴を履く際に転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	鶴	入居者 居室内で移動されている際に転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	鶴	入居者 車椅子で自操中に壁と車椅子の間に腕を挟んでしまい打撲。	施設賠償の有・無
R7/5	亀	入居者 ベッド上にて便異食される。	施設賠償の有・無
R7/6	鶴	入居者 ベッドから車椅子へ自身で移乗しようとして転倒。	施設賠償の有・無
R7/6	鶴	入居者 居室にてベッドから立ち上がり転倒。	施設賠償の有・無

R7/6	亀	入居者	居室にてベッドから立ちあがり転倒。	施設賠償の有・ 
R7/6	鶴	入居者	服薬介助後吐き出しあり落葉。	施設賠償の有・ 
R7/6	鶴	入居者	本人より居室で転倒したとの報告ある。	施設賠償の有・ 
R7/6	鶴	入居者	本人より居室にて膝をついて転倒したと報告ある。	施設賠償の有・ 
R7/6	亀	入居者	ベッド横に敷いてあるパラケア上へ転落。	施設賠償の有・ 
R7/7	鶴	入居者	NC あり訪室するとベッド横に長座位になっている。	施設賠償の有・ 
R7/7	鶴	入居者	助けてと声がし、訪室するとベッドより転落している。	施設賠償の有・ 
R7/7	鶴	入居者	助けてと声が聞こえ訪室すると、ベッドわきに横たわっている。	施設賠償の有・ 
R7/7	鶴	入居者	トイレ内の廊下に座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・ 
R7/7	鶴	入居者	ベッドより立ち上がり転倒。	施設賠償の有・ 
R7/7	亀	入居者	車椅子上に落葉発見。	施設賠償の有・ 
R7/7	亀	入居者	食堂にて立ち上がり歩行し転倒。	施設賠償の有・ 
R7/7	亀	入居者	食席よりずり落ちている本人を発見。	施設賠償の有・ 
R7/7	亀	入居者	ベッドわきに座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・ 
R7/7	鶴	入居者	ベッドわきに座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	トイレに行こうとし、歩行中に転倒。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	眠り SCAN にて起き上がり検知あり、床に横たわっている。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	ベッドわきに横たわっている本人を発見。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	ベッドから起き上がり転落。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	ベッドからずり落ち座り込まれている。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	ベッドから立ち上がり尻もちを付かれる。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	トイレにて便座横に座り込まれている。	施設賠償の有・ 
R7/8	鶴	入居者	GM 作動し訪室。車椅子と一緒に倒れ込まれている。	施設賠償の有・ 
R7/8	亀	入居者	食堂にて車椅子よりずり落ち。	施設賠償の有・ 
R7/8	亀	入居者	トイレ誘導時、手摺と壁の間に腕を挟み表皮剥離。	施設賠償の有・ 
R7/8	亀	入居者	朝食後ソファよりずり落ち。	施設賠償の有・ 
R7/9	亀	入居者	車椅子の移動介助時テーブルに腕をぶつけ表皮剥離。	施設賠償の有・ 
R7/9	鶴	入居者	トイレにて床に座り込まれる。	施設賠償の有・ 
R7/9	鶴	入居者	居室にてベッドわきに倒れ込まれている。	施設賠償の有・ 
R7/9	鶴	入居者	居室にて歩行器を使わず歩いてしまい転倒。	施設賠償の有・ 
R7/9	鶴	入居者	ベッドわきに横たわっている本人を発見。	施設賠償の有・ 
R7/10	鶴	入居者	トイレへ向かおうとして転倒。	施設賠償の有・ 
R7/10	鶴	入居者	車椅子を押して移動されており、車椅子に座って頂こうとしてフットレストに足が引っ掛かり転倒。	施設賠償の有・ 
R7/10	鶴	入居者	ベッドで端座位になり、そのまま転落。	施設賠償の有・ 
R7/10	鶴	入居者	食席にて車椅子よりずり落ち。	施設賠償の有・ 

R7/10	鶴	入居者	不穩状態で歩行し、方向転換時に転倒。	施設賠償の有・無
R7/10	鶴	入居者	居室内にて立っている状態でバランスを崩し転倒。	施設賠償の有・無
R7/10	鶴	入居者	ベッド横で床に座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/10	亀	入居者	居室にてポータブルトイレを背にして座り込んでいる。	施設賠償の有・無
R7/10	亀	入居者	ベッドから転落。	施設賠償の有・無
R7/10	亀	入居者	ベッドに端座位になった状態でバランスを崩し顔をＬ字柵にぶつける。	施設賠償の有・無
R7/10	亀	入居者	ベッドに座った際に後ろに倒れ込み柵に頭部をぶつけた。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	ベッドの座りが浅くずり落ち。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	ベッド横に座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	ベッドわきに座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	車椅子からずり落ち。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	ベッドわきで座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	ベッドわきで座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	トイレの手すりを掴み損ね転倒。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	ベッドに座り損ね転倒。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	就寝介助時、左脛に表皮剥離発見。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	訪室時床に座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/11	鶴	入居者	居室前まで歩き、ズボンを下ろしてしまい転倒。	施設賠償の有・無
R7/11	亀	入居者	食席のテーブルと車椅子の間に座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R7/11	亀	入居者	食堂にて歩こうとして転倒。	施設賠償の有・無
R7/12	鶴	入居者	本人より転倒したとの訴えある。	施設賠償の有・無
R7/12	鶴	入居者	右足の爪を切っている時に皮膚を切ってしまった。	施設賠償の有・無
R7/12	鶴	入居者	エンジョイゼリーの出し忘れ。	施設賠償の有・無
R7/12	鶴	入居者	エンジョイゼリーの出し忘れ。	施設賠償の有・無
R7/12	鶴	入居者	エンジョイゼリーの出し忘れ。	施設賠償の有・無
R7/12	鶴	入居者	エンジョイゼリーの出し忘れ。	施設賠償の有・無
R7/12	亀	入居者	昼食後、床に落ちている錠剤を発見。	施設賠償の有・無
R7/12	亀	入居者	時間ずらしした食事を誤って下膳してしまった。	施設賠償の有・無
R7/12	亀	入居者	左足の腫脹ありレントゲン施行し腓骨骨折の診断。	施設賠償の有・無
R7/12	亀	入居者	看護師の指示と違う薬を抜いて服用させてしまった。	施設賠償の有・無
R7/12	亀	入居者	居室にて床に座り込んでいる本人を発見。	施設賠償の有・無
R8/1	鶴	入居者	対応遅れ、居室より歩いて出てきてしまい転倒し骨折。	施設賠償の有・無
R8/1	鶴	入居者	臥床まで見守らず、居室のドアを閉めようと歩いて転倒し骨折。	施設賠償の有・無
R8/1	亀	入居者	入浴介助時、椅子浴のキャリーに指を挟み裂傷。	施設賠償の有・無

R8/2	亀	入居者	ベッドよりずり落ち、床に座り込まれている。	施設賠償の有・ ☒
R8/2	亀	入居者	トイレ誘導時バルーンカテーテルの抜去を発見。	施設賠償の有・ ☒
R8/2	亀	入居者	食席から立ち歩き転倒。左後頭部に腫脹。	施設賠償の有・ ☒
R8/2	鶴	入居者	一人でトイレに向かい、移乗出来ず転倒。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	亀	入居者	食席から一人で立ち歩き転倒。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	亀	入居者	食席から一人で立ち歩きバランスを崩し転倒。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	鶴	入居者	食堂にて便異食される。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	鶴	入居者	食堂にて車椅子よりずり落ち。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	鶴	入居者	右前腕に 3×3cm の表皮剥離を発見。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	鶴	入居者	靴下を履いたまま臥床し、起きた際に滑って転倒。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	鶴	入居者	不穏ありベッドから転落。	施設賠償の有・ ☒
R8/3	鶴	入居者	食堂にて椅子から立ち上がりふらついて転倒。	施設賠償の有・ ☒

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別苦情相談件数	件数	昨年度	内容別苦情相談件数	件数	昨年度
苦 情	0	1	職員の対応	0	1
ヒヤリ苦情	0	0	確認不足	0	1
トラブル	2	1			
ヒヤリトラブル		0			
合 計	2	2	合 計	0	2

② 苦情内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	申し出者	申し出内容

2) 生活相談室

(1) 処遇方針について

- ・職員や入居者様との日々のコミュニケーションや各セクションとの情報交換を行い、入居者様が抱えているニーズや要望の把握できるように努めたが、決定事項が職員間に周知徹底されていなかったり、決められた対応が継続されていない事あり、結果として個々に合った対応ができていない事があった。感染予防のため面会制限もありご家族との情報交換の機会が減少されたが、電話連絡を適時行う事や面会時に積極的に話しかける事で情報共有は図れた。各セクションとの情報共有や対応の遅れがあり、早期の問題解決に繋げる事ができなかった事もあった。

(2) 処遇目標について

- ・定期的なカンファレンスの開催ができており、ケアプランの内容も入居者やご家族の想いに沿えるよう心掛けている。入居者様の状態変化等を予測しながら目標期間の変更を行い、適時カンファレンスを行った。
- ・退所者を予測しながらの対応を行ったが、見通しがあまく例年よりも長期入所での入院者・入院期間の増加や急な退所があり、空床期間が多くなってしまった。ロングショートや短期入所との調整を行ったが、年間平均稼働率は93.82%となっており目標の97%には届かなかった。

- ・各セクションが様々な対応の工夫を行い身体拘束はなかったが、不適切なケアとして捉えられる内容などがあり、施設全体や委員会内などで研修を繰り返し行った。
- ・ICT 導入により使う事はできているが、使用する事で業務改善を図るまで十分な対応ができておらず今後も介護室や看護室と話をしながら進めていく。
- ・体調不良等による病院受診やその後の経過、転倒などの状況報告やその後の対策など、面会制限を行っている事も考慮しながらこまめに連絡を行う事ができた。
- ・見学希望者には入所申込に繋がるよう真摯に対応を行った。電話での問い合わせにも必要な情報提供を行い、入所申込やロングショート利用に繋がるケースもあった。また、他部署にも必要時にすぐに連絡し情報共有を図った。

(3) 年間計画について

- ・新型コロナウイルスなどの感染症の影響により中止にした行事もあったが、できるだけ各セクションや各ユニットで実施できるよう工夫を行いながら対応をした。夏祭りや敬老祝賀会・誕生会にはご家族も参加を招き、入居者様と一緒に楽しむ事ができた。今年度は木々られた人数であったがバスレクを行っており、できる限り全入居者様が参加できるよう今後も取り込んでいく。個別誕生会は2階・3階で共通の用紙を作成し管理できるよう努めており、委員会内や日常でも口頭で伝えていたが、実施できていない事が多くあり誕生日月から遅れて実施する事や、誕生日をお祝いする事ができないまま退所されてしまう方もいた。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故報告		昨年度	発生状況別事故件数		昨年度	発生場所別事故件数		昨年度
虐待	0	1	介助中	0	1	居室	0	1
合 計	0	1	合 計	0	1	合 計	0	1

② 事故内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	対象者	内 容	結 果
			施設賠償の有・無

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別苦情相談件数	件数	昨年度	内容別苦情相談件数	件数	昨年度
苦 情	0	0	職員の対応	0	0
ヒヤリ苦情	0	0	確認不足	0	0
トラブル(紛失)	0	0			
ヒヤリトラブル	0	0			
合 計	0	0	合 計	0	0

3) 生活看護室

(1) 処遇方針について

- ・日常の訴え、体調の変化に留意し、情報収集や意見交換を行い対応した。
- ・関連病院との連絡・調整を行い、円滑な受診・往診の対応を行うことが出来た。
- ・施設内感染予防を常に心掛け、職員の健康状態に注意し対応、声かけを行った。

(2) 年間目標について

- ・病状に合わせ、受診の必要性を検討し対応した。
- ・健康管理上、御家族から要望や相談があった際はその旨、主治医に報告や相談を行い希望に添えるよう努めた。
- ・事故防止に努めていたが、確認、連絡不足によりヒヤリ、事故を防げなかった。薬のセットミスその他、再診予定が遅れてしまったトラブルもあった。
- ・感染症発生はあったが、病院と調整を行い、健康診断、予防接種を実施することが出来た。
- ・協力病院と調整しながら、御家族の希望に沿った看護ケアを行うように努めた。
- ・インフルエンザ、風邪、ノロウイルス、新型コロナウイルス感染症の発生があった。感染予防策の徹底を、委員会や適宜声掛けしていったが、風邪症状に対する職員の意識が低く、風邪の蔓延、入院者につながってしまった。

(3) 年間計画について

- ・予定通り実施出来た。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故報告		昨年度	発生状況別事故件数		昨年度
事故 薬のセット間違い	1	1	入浴中	1	0
与薬間違い	1	1	与薬中	1	4
ヒヤリ与薬	2	3	食事中	0	0
ヒヤリ 転倒、転落	0	0	介助中	0	0
その他	2	0	その他	4	1
合 計	6	5	合 計	6	5

② 事故内容・結果報告

日時	事故対象者		事故内容	結 果
R7.10.15	特養入浴者	利用者	風邪のため、感染対応をしていた入居者を、他の入居者と一緒に入浴させてしまった。	施設賠償の有・無
R7.11.7	特養3階	利用者	臨時薬がセットされていないのに気付かず、次の日に内服できていなかったことがわかった。	施設賠償の有・無
R7.11.19	特養3階	利用者	吸入薬の落薬	施設賠償の有・無
R8.2.26	特養2階	利用者	寝る前薬のセットを忘れ、内服できなかった。	施設賠償の有・無

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（ショートステイ含む）

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別苦情相談件数		昨年度	内容別苦情相談件数		昨年度
苦 情	0	0	確認不足	0	1
ヒヤリ苦情	0	0	職員の対応	0	
トラブル	1	0	その他	1	0
ひやりトラブル	0	1			
合 計	1	1	合 計	1	1

4) 栄養管理室

(1) 処遇方針について

- ・入居者様の栄養状態や嚥下状態に対応し、食中毒の発生なく安全な食事提供ができた。
- ・物価高騰が続いており、食材や献立の見直しを行った。

(2) 処遇目標について

- ・栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の把握と改善に向けて検討を行った。
- ・入居者様個々の嗜好や栄養状態に個別対応した食事提供ができた。
- ・適切な食事形態で食事提供ができた。
- ・衛生管理を適切に行い、食中毒や厨房職員の感染症の発生はなかった。
施設内の感染状況に合わせた食事、配膳の対応ができた。

(3) 年間計画について

- ・予定通り実施できた。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故件数		昨年度	内容別事故件数		昨年度
その他	4	5	異物混入	2	3
			配膳ミス	1	2
			賞味期限切れ	1	0
合 計	4	5	合 計	4	5

② 事故内容・結果報告

日時	事故対象者		事故内容	結 果
R8/1/21	特養2階 鶴ユニット	利用者様	誕生会で提供したカルピスの賞味期限が2日切れていた。飲まれた方に体調不良の方は出なかった。	施設賠償の有・
R8/1/25	特養3階	ショート 利用者様	食事中にプラスチック様の小破片を吐き出された。どの料理に混入していたかは不明。	施設賠償の有・

③ ヒヤリ事故内容・結果報告

日時	事故対象者		事故内容
R7/11/12	特養3階	ショート 利用者様	納豆禁(嗜好)の方に納豆を配膳してしまった。ご本人による申し出があり代替え品と交換する。
R8/3/16	1階	職員	味噌汁に髪の毛が混入していた。お椀に付着していたか、味噌汁に入っていたかは不明。スープジャーの味噌汁を作りなおし対応する。

(6) 入居者状況

① 在所者状況

令和8年3月31日現在(単位:人)

在 所 者	82	男 性	20	女 性	62
-------	----	-----	----	-----	----

② 入居者年齢構成

令和8年3月31日現在（単位：人）

性別 \ 年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計	平均年齢
男	0	0	0	5	6	6	2	1	20	84.64 歳
女	0	0	1	5	8	19	11	18	62	89.27 歳
計	0	0	1	10	14	25	13	19	82	88.01 歳

③ 入所前居所

令和8年3月31日現在（単位：人）

性別 \ 居 所	居 宅	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	医療機関	社会福祉施設	その他	計
男	12	0	5	0	3	0	0	20
女	43	0	10	0	7	0	2	62
計	55	0	15	0	10	0	2	80

④ 要介護度別利用状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

性別 \ 要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	4	13	3	20	3.9
女	0	0	21	26	15	62	4.0
計	0	0	25	39	18	82	4.0

⑤ 心身の状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

認知症自立度 \ 寝たきり度		寝たきり度判定基準				
		ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	計
認知症は認められない		0	0	1	0	1
認知症自立度判定基準	ランクI	0	0	0	0	0
	ランクII	2	4	16	2	24
	ランクIII	0	12	24	6	42
	ランクIV	0	3	7	3	13
	ランクM	0	1	1	0	2
計		2	20	49	11	82

⑥ 月別入居状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日現在（単位：人）

性別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	2	1	0	2	1	0	0	0	1	1	8
女	2	0	2	0	1	1	0	3	2	1	2	7	21
計	2	0	4	1	1	3	1	3	2	1	3	8	29

⑦ 施設在所期間

令和8年3月31日現在（単位：人）

性別 \ 在所期間	6ヶ月以内	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	3年～4年未満	5年～6年未満	7年～8年未満	9年以上	計
男	5	2	9	3	1	0	0	20
女	17	3	25	11	4	1	1	62
計	22	5	34	14	5	1	1	82

⑧ 入居者のADL状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

区 分				合計	2 階		3 階		
					ラベンダー	すずらん	鶴	亀	
歩 行	自 立 歩 行			4	0	1	2	1	
	歩行補助具使用(杖・歩行器・手押し車)		自立	3	1	2	0	0	
			要介助	3	0	2	1	0	
	車椅子使用	自 立	17	4	2	5	6		
		要 介 助	55	15	15	12	13		
食 事	自 立			40	11	8	11	10	
	一 部 介 助			27	7	11	4	5	
	全 介 助			30	2	18	5	5	
入 浴	自 立			0	0	0	0	0	
	一 部 介 助			14	4	4	3	3	
	全 介 助			68	16	18	17	17	
	一 般 浴			3	0	0	2	1	
	介 助 浴			10	2	5	2	1	
	特 浴			69	18	17	16	18	
	着 脱	自 立			6	1	0	2	3
一 部 介 助			31	8	12	5	6		
全 介 助			45	11	10	13	11		
排 泄	昼 間	トイレ使用	自 立	13	3	4	3	3	
			誘 導	38	9	10	7	12	
		便器使用	自 立	14	3	4	4	3	
			介 助	37	9	10	6	12	
			おむつ使用（簡易おむつを含む）			82	20	22	18
	夜 間	トイレ使用	自 立	11	3	2	2	4	
			誘 導	30	6	11	6	7	
		便器使用 (ホータブル含)	自立	14	3	5	4	2	
			介 助	26	6	9	4	7	
			おむつ使用（簡易おむつを含む）			79	20	22	18
		整 容	自 立			6	1	0	2
一 部 介 助			30	10	12	4	4		
全 介 助			46	9	10	14	13		
体 交	自 立			29	6	9	7	7	
	全 介 助			53	14	13	13	13	

※歩行・移動、排泄について重複あり

⑨ 月別入退院者状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

月 入・通院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
入院者数	8	7	6	6	7	7	9	17	17	15	13	7	119	61
退院者数	3	2	2	1	2	3	1	4	2	3	2	3	28	28

⑩ 入居者の動向

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

年 月	定 員	入 所	退 所			月末人員	昨年度
			死亡	長期入院	その他		
6年4月	83	2	0	0	0	82	82
5月	83	0	0	2	0	80	80
6月	83	4	0	1	0	83	83
7月	83	1	0	2	0	81	81
8月	83	1	2	0	0	81	79
9月	83	3	1	1	0	82	81
10月	83	1	2	0	0	81	81
11月	83	3	1	1	0	83	82
12月	83	2	2	2	0	80	81
7年1月	83	1	3	2	0	77	81
2月	83	4	2	4	0	74	82
3月	83	9	1	0	0	82	80
計	996	31	14	15	0	966	973
			29				
昨年度	996	34	35			973	

⑪ 診療科別入通院状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月	科 区分	内 科	外 科	整 形	皮 膚 科	泌 尿 器 科	循 環 器 科	脳 外 科	婦 人 科	精 神 科	耳 鼻 科	眼 科	歯 科	そ の 他	計
4	入 院	2													2
	通 院	145		8	1	3	2	2		1		3	22		187
5	入 院	2												1	3
	通 院	146		9	4	9	5	2	1	4			24	1	205
6	入 院	2													2
	通 院	167		7	1	4	2	1		2		3	15		202
7	入 院	3													3
	通 院	162		10	5	6		2		4		1	21		211
8	入 院	3					1								4
	通 院	126		6	3	3	1	1		3	2	3	21		169
9	入 院	2		1			1								4
	通 院	172		14	5	6	1	1		3	1		21		225
10	入 院	2					1	2						2	7
	通 院	141		6	3	10	2	5		3		7	25	2	204
11	入 院	10				1									11
	通 院	180		6	4	5	2			3			15		215
12	入 院	3		1			2								6
	通 院	122		10	2	2	5	2	2	2	1	4	16	1	169
1	入 院	3													3
	通 院	126		10	3	8		1		2		1	11		162
2	入 院	5		1											6
	通 院	181		7	4	6				2			9		209
3	入 院	0				1	1								2
	通 院	124		6	3	5		3	3	2	1	2	13		162

入 院 計	37		3		2	6	2					3	53
通 院 計	1792		99	38	67	20	20	7	31	5	24	213	2320
昨年度	入院計	48	3		1	5	2					2	61
	通院計	1796	83	21	99	13	18		53	5	17	299	2418

⑫ 入院・通院状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

病 院 名	主な科目	通院者	入院者	病 院 名	主な科目	通院者	入院者
札幌百合の会病院	内 科	1779	30	ていね耳鼻科	耳鼻科	1	
	整 形	75		愛心メモリアル	循環器	2	
麻生脳外	脳 外	3	1	心臓血管クリニック	循環器	16	4
朋友会	婦人科	2		北海道泌尿器科	泌尿器科	5	2
道都病院	内 科	4	4	東豊病院	婦人科	2	
北海道脳外	脳神経	1		日の出歯科	歯 科	213	
中村記念病院	脳神経	5		禎心会病院	脳神経	3	
川嶋泌尿器科	泌尿器科	61			婦人科	3	
小野眼科	眼 科	1			整 形	1	
北海道消化器	内 科	4		大塚眼科	眼 科	2	
新川まえた眼科	眼 科	3		麻生北クリニック	耳鼻科	4	
しのろ眼科	眼 科	3		能登眼科	眼 科	1	
石丸眼科	眼 科	7		佐藤病院	精神科	25	
いとが整形	整 形	2		手稲溪仁会病院	脳神経	1	1
しのろ皮膚科	皮膚科	27		市立札幌病院	内 科	1	
勤医協中央	内 科		1		循環器		2
					整 形		1
石垣整形外科	整 形	1		カレス	泌尿器科	1	
新川新道整形	整 形	9	2	札幌中央病院	救急	2	2
創成川通り整形	整 形	7		鈴木病院	精神科	6	
クラーク病院	整 形	3	1	北脳神経外科	脳神経	7	
横山眼科	眼 科	2		栄町皮膚科	皮膚科	9	
東徳洲会病院	眼 科	5		さっぽろ神経内科	神経内科	1	1
	内 科	3	1	北 大	整 形	1	
	循環器	1		合 計		2320	53
J R 札幌病院	皮膚科	2		昨年度合計		2418	61

※入院理由内訳 内科／インフルエンザ、誤嚥性肺炎、尿路感染、膵臓がん、脱水他 脳外科／脳梗塞、てんかん発作
循環器／狭心症、意識消失、不整脈、大動脈解離 泌尿器科／尿管結石 救急／細菌性肺炎 整形／頸部骨折

⑬ 月別稼働数

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

年 月	定 数	在所者合計	入院加算	合 計	稼働率
7 年 4 月	2,490	2,229	30	2,259	89.52%
5 月	2,573	2,394	10	2,404	93.04%
6 月	2,490	2,348	24	2,372	94.30%

7 月	2,573	2,467	12	2,479	95.88%
8 月	2,573	2,424	19	2,443	94.21%
9 月	2,490	2,369	30	2,399	95.14%
10 月	2,573	2,386	42	2,428	92.73%
11 月	2,490	2,205	58	2,263	88.55%
12 月	2,573	2,160	31	2,191	83.95%
8 年 1 月	2,573	2,115	29	2,144	82.20%
2 月	2,324	1,900	31	1,931	81.76%
3 月	2,573	2,255	7	2,262	87.64%
合 計	30,295	27,252	323	27,575	89.91%
昨年度	30,295	27,579	373	27,952	91.07%

⑭ ボランティアの受入れ状況

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

区 分	内 容	前年度実績	年間件数	主 な 団 体 名
技術奉仕		有・無	0	
作業奉仕	縫い物など	有・無	96	ひまわりクラブ
介助奉仕	居室清掃・洗濯物配布・移動介助・クラブ活動手伝い他	有・無	186	鹿野氏・藤山氏・土岐氏
指導奉仕		有・無	0	
そ の 他		有・無	0	

⑮ クラブ活動状況

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（1 回平均・単位：人）

クラブ名	参 加 人 員			指導者等	開催状況
	男	女	計		
フラワーアレンジメント教室	0	10～14	10～14	フラワーひまわり 野 宮 氏	月 1 回（水）
音楽療法	0～2	3～5	4～5	音楽療法士 中 村 氏 河 崎 氏	週 1 回（火 or 金）AM
	4～8	11～15	13～23		週 1 回（火 or 金）PM

⑯ 慰問団体の受入れ状況

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

慰問内容	団体名	慰問内容	団体名
感染予防のため、今年度は慰問受け入れを中止となっている。			

⑰ 行事報告

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

月 日	行事名	参加人数	内 容	反 省
4 月 17 日 (木)	誕生会	入居者全員 ご家族 1 組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。

5月16日 (金)	誕生会	入居者全員 ご家族2組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
6月16日 (月)	誕生会	入居者全員 ご家族3組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
7月14・15・17・18日 (月・火・木・金)	ジンギスカン	入居者全員	ユニット毎で実施し食材を調理が見える位置に座り、見た目・において食欲の増進を図る。	ジンギスカンメンバー以外でもつくねなどを小さくカットし提供したり、アイスクリームを食べて頂いたりと皆さんが楽しんで頂けた。年々食べられる方が減少されていたが、今年度は半数以上が摂取できる方がおり詰まりやムセ無く摂取できていた。
7月22日 (火)	誕生会	入居者全員 ご家族1組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
8月7日 (木)	七夕	入居者全員	各ユニット毎で七夕の由来、短冊の願い事の発表、歌を唄う。	七夕の歌を皆さんと唄い、短冊発表時はユニークな願い事もあり、皆さん楽しまれながら聞いていた。
8月9日 (土)	夏祭り	入居者様・ご家族様	時間ごとにセクションを分け、ご家族様も参加をして頂きながら楽しんで頂く。	時間ごとに参加フロアを分けた事で、ご家族が来園されても混雑なく対応ができた。盆踊りも賑わっており、ご家族も含め皆さん楽しまれていた。
8月20日 (水)	誕生会	入居者全員 ご家族1組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
9月13日 (土)	敬老祝賀会	入居者全員・ご家族様	各階にて余興を実施する。	午前中にお祝い該当者のご家族様も来て頂き、一緒に記念撮影を行う。午後からもご家族を招き敬老祝賀会を各階で実施、皆様に記念品と該当者にもプレゼントをお渡しし、余興を行った。写真はご家族様にも郵送する。
9月18日 (木)	誕生会	入居者全員	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
7月14・15・17・18日 (火・木・金)	バスレク	各階10～12名	六花亭やロイズに行き、ソフトクリームなど食べたりお土産を購入する。	入居者全員の対応はできなかったが、人数限定で行った。事前に伝えていた為楽しみにされている方も多く、飲食や買い物を楽しんでいた。できる限りたくさんの方が外出できるよう、来年度は時期を変えて検討していく。
10月17日 (木)	誕生会	入居者全員	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。

10 月 20・21・23・24 日 (月・火・木・金)	デザートバイキング	入居者全員	各ユニット毎にデザートを並べ、バイキング形式で楽しんで頂く。	お汁粉・茶碗蒸しなど、デザートだけではなくたくさんの種類があり、皆さん自分の好みの物をたくさん摂取されていた。のデザートを摂取されていた。
11 月 17 日 (月)	誕生会	入居者全員	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
12 月 17 日 (水)	誕生会	入居者全員 ご家族 1 組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
12 月 24 日 (水)	クリスマス会	入居者全員	各ユニットごとで食事後、休憩を挟み余興(クイズや歌)を楽しんで頂く。	各階でクイズや歌を楽しまれており、記念撮影も多くの笑顔が見られていた。
1 月 8 日 (火)	もちつき大会	3 階のみ実施	各階で入居者・職員が順番で餅を搗いて頂く。	年男や年女の紹介後にお餅を搗いて頂いた。その後も入居者様や職員にも餅を搗いてもらい、手拍子をしながら見ている方も楽しく実施できた。2階は感染対策中だったため中止した。
1 月 21 日 (水)	誕生会	入居者全員	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
2 月 3 日 (火)	節分	入居者全員	年男、年女の紹介後、鬼が登場し皆さんで豆まきを行い無病息災を祈る	鬼の登場に驚きながらも、力いっぱい豆を投げられていた。「鬼は外、福は内。」と大きな声で話されていた。
2 月 20 日 (金)	誕生会	入居者全員	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。
3 月 3 日 (水)	ひな祭り	入居者全員	ユニットごとにひな祭りにちなんだゲームや合唱を行い楽しんで頂く。	ひな祭りや春にちなんだ曲を流し、職員と皆さんで合唱やレクレーションを楽しむ事ができた。
3 月 19 日 (木)	誕生会	入居者全員 ご家族 2 組	各セクションで余興を実施する。	各ユニットにて誕生会を行い該当者は記念撮影をし、ご家族に郵送した。午後より各セクション毎で余興等を実施している。

⑱ 食形態別状況

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 (単位：人)

月	形態	常 食	軟 菜	刻み食・ソフト食	ミキサー食	糖尿食	減塩食	ゼリー食	合 計
4		15	4	33	4	2	9	7	74
5		13	4	36	4	3	9	9	78
6		13	4	35	4	3	8	9	76
7		15	5	31	6	4	8	11	80
8		14	5	32	6	4	8	10	79
9		14	5	29	9	4	6	10	77

10	12	3	34	7	3	7	11	77
11	11	7	26	10	4	9	8	75
12	11	8	26	11	3	8	4	71
1	9	7	26	11	3	8	4	68
2	8	6	27	11	2	9	6	69
3	5	7	31	9	3	9	5	69
合 計	140 16%	65 7%	366 41%	92 10%	38 4%	98 11%	94 11%	893
昨年度	119 12%	49 9%	395 47%	84 11%	38 4%	94 7%	116 10%	895

⑱ 行事食実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月	行 事 名	行 事 食 内 容
4	・誕生会(17日)	・桜ちらし寿司 すまし汁 豆腐ハンバーグ あんかけ煮 オーロラサラダ ケーキ
5	・端午の節句(5日) ・誕生会(16日)	・弁当(五目御飯 メンチカツ 玉子焼 しゅうまい 南瓜煮物 和え物) すまし汁 抹茶ババロア ・赤飯 二色えび天 すき焼煮 豆乳茶碗蒸し すまし汁 ケーキ
6	・北海道神宮祭(15日) ・誕生会(16日)	・そばろちらし寿司 すまし汁 天ぷら 和え物 ・弁当(竹の子御飯 とんかつ しゅうまい 玉子焼 ナポリタン 和え物) すまし汁 ケーキ
7	・野外食(14, 15, 17, 18日) (デイ1-4日) ・誕生会(22日)	・ジンギスカン 野菜 うどん おにぎり ・うなぎちらし寿司 鶏団子煮物 和え物 すまし汁 ゼリー
8	・七夕(8日) ・お盆(15日) ・誕生会(20日)	・七夕ちらし寿司 鶏のり塩揚げ 和え物 そうめん汁 ・ゆかり御飯 すまし汁 天ぷら 煮しめ 酢の物 ・ほたて御飯 夏野菜つくね 炊き合わせ 茶碗蒸し すまし汁 ケーキ
9	・敬老祝賀会(13日) ・誕生会(18日)	・赤飯おにぎり 刺身 炊き合わせ あんかけ茶碗蒸し すまし汁 苺ムース ・栗山菜おこわ 鶏照焼 しゅうまい つまみ揚げ 干草焼 和え物 すまし汁 おはぎ
10	・誕生会(17日)	・鮭ちらし寿司 磯辺とり天 豆腐のきのこあんかけ 千切り長芋 すまし汁 ケーキ
11	・誕生会(17日)	・生ちらし寿司 南瓜そばろあん 茶碗蒸し エクレア
12	・誕生会(16日) ・ディナミクス会(24, 25日) ・クリスマス会(24日) ・年越し(31日)	・そばろひじきご飯 サーモンフライ 煮物 南禅寺蒸し 南瓜サラダ すまし汁 クリームワッフル ・エビピラフ ローストチキン 星コロケ ナポリタン ミモザサラダ コーンスープ ケーキ 《昼食》いなり寿司 ミニ年越しそば ぎせい豆腐 和え物

1	・正月（元旦） （2日） （3日） ・誕生会（21日）	《朝食》ゆかり御飯 味噌汁 煮物 和え物 昆布佃煮 牛乳 《昼食》芋餅雑煮 弁当（赤飯 鮭塩焼 カニクリームコロッケ 寿蒲鉾 伊達巻 黒豆 煮物） 《おやつ》栗きんとん 《夕食》味噌汁 鶏松風焼 旨煮 紅白柚子なます 《昼食》ちらし寿司 すまし汁 豚すき焼煮 和え物 《おやつ》紅白ゼリー 《昼食》すまし汁 天ぷら 煮物 茶碗蒸し 《おやつ》抹茶プリン ・チキンライス スープ ハンバーグ エビフライ スマイルポテト マカロニサラダ ケーキ
2	・節分（3日） ・誕生会（19日）	・豆散らし寿司 つくね ピーナツ和 煮豆 すまし汁 豆乳プリン ・弁当（赤飯 鶏照焼 エビカツ 蒲鉾 厚焼卵 煮物 和え物） すまし汁 ケーキ
3	・雛祭り（3日） ・誕生会（19日） ・寿司の日（24日）	・ちらし寿司 鶏菜種焼 和え物 すまし汁 薄皮桜餅 ・炊き込み御飯 天ぷら 炊き合わせ 酢の物 すまし汁 エクレア ・寿司盛合せ（マグロ カレイ エビ サーモン カニマヨ ネギトロ、卵、いなり） 茶碗蒸し すまし汁

5）短期・予防短期入所生活介護事業

（1）処遇方針について

- ・個々の状況を日々の関わりからニーズを捉えることで、必要な介護の提供を行うことで、サービス利用後の在宅生活を継続できるよう配慮しながら対応した。
- ・状況変化等は随時関係セクションと報告・連絡・相談するよう努めた。利用中の特変事項やニーズの変化もその都度セクション内で情報共有し、問題があれば解決できるよう努めた。必要な内容をご家族や介護支援専門員等と連絡を取りながら、情報の共有と対応方法の検討に努めた。

（2）処遇目標について

- ・長期入所ベッドを入院期間や入所時期の確認を行いながら効率よく空床利用して頂けるよう心掛けた。空床情報を各事業所へ連絡や訪問し、新規利用者獲得や継続利用して頂けるよう努め、目標稼働率を達成することができた。来年度も目標達成ができるよう努めていく。
- ・ケアプランを基に施設生活において必要とされる援助計画を作成・実施するよう努めた。
- ・普段よりご本人やご家族と関わりを多く持つよう意識し、情報共有、ニーズの把握・サービス提供内容について検討しながら対応した。新規利用者獲得とリピーター獲得について、今後もより意識を高めて取り組んでいく。
- ・日頃の送迎時や担当者会議等でご家族や介護支援専門員、他連携機関等と連絡を取り、課題点の把握やサービス利用中の問題点を把握し、共に問題解決へと繋げられるよう心掛けた。

（3）年間計画について

- ・計画通り実施。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告(特養と重複有り)

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故報告		昨年度	発生状況別事故件数		昨年度
転倒・転落	27	13(1)	介助中	2	1
ヒヤリ転倒・転落	0	0	トイレ中	1	1
一人での外出	0	0	移動中	0	5
ヒヤリ一人での外出	0	0	歩行中	4	0
誤薬	3	8	臥床・就寝中	17	5
ヒヤリ与薬忘れ	0	0	車いす乗車中	2	2
傷・痣	0	0	その他	5	12
その他	1	5			
合 計	31	26(1)	合 計	31	26

※()内はひび・骨折等

② 内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結 果
R7/4	3F 鶴	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R7/4	3F 鶴	利用者	居室内で転倒。	施設賠償の有・無
R7/4	3F 亀	利用者	食堂で転倒。	施設賠償の有・無
R7/4	3F 亀	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	3F 亀	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	2F ラベンダー	利用者	食堂で転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	2F すずらん	利用者	枕元にて内服後口腔内より出たと思われる落薬発見。	施設賠償の有・無
R7/5	3F 鶴	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R7/5	3F 鶴	利用者	食堂足元に内服後口腔内より出たと思われる落薬発見。	施設賠償の有・無
R7/6	3F 鶴	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R7/6	3F 鶴	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R7/6	3F 亀	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R7/7	3F 鶴	利用者	食堂で転倒。	施設賠償の有・無
R7/7	2F すずらん	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R7/7	3F 鶴	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R7/7	3F 亀	利用者	食堂ソファより転落。	施設賠償の有・無
R7/11	3F 亀	利用者	居室入り口で転倒。	施設賠償の有・無

R7/12	2F すずらん	利用者	トイレで転倒。	施設賠償の有・無
R7/12	2F ラベンダー	利用者	食堂で転倒。	施設賠償の有・無
R7/12	2F すずらん	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R7/12	2F すずらん	利用者	食堂で転倒。	施設賠償の有・無
R8/1	2F ラベンダー	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R8/1	2F ラベンダー	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R8/1	2F ラベンダー	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R8/1	3F 亀	利用者	昼食本人吐き出しありプラスチック様の破片異物混入していた。	施設賠償の有・無
R8/1	2F すずらん	利用者	食堂で転倒。	施設賠償の有・無
R8/2	2F ラベンダー	利用者	居室で転倒。	施設賠償の有・無
R8/2	2F ラベンダー	利用者	内服薬セットミスによる内服忘れ。	施設賠償の有・無
R8/2	3F 鶴	利用者	食堂で車椅子より転落。	施設賠償の有・無
R8/2	3F 鶴	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無
R8/3	2F すずらん	利用者	ベッドより転落。	施設賠償の有・無

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル件数報告（特養と重複有り）

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別苦情相談件数		昨年度	内容別苦情相談件数		昨年度
苦 情	0	0	ケアの内容	0	0
ヒヤリ苦情	0	0	職員の対応	0	2
トラブル	0	1	その他	0	0
ひやりトラブル	0	1			
合 計	0	2	合 計	0	2

② 苦情内容・結果報告（特養に掲載）

トラブルの起因者	トラブル内容	結 果
		第三者報告 有・無 未解決・解決

(6) 利用者状況

要介護度別利用状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月	内 訳	要支援		要介護					計	昨年度
		1	2	1	2	3	4	5		
4	実人員	0	1	2	5	9	7	2	26	21
	延利用者数	0	3	16	45	214	175	45	498	400

5	実人員	0	0	0	4	10	7	2	23	20
	延利用者数	0	0	0	49	250	197	44	540	431
6	実人員	0	0	0	6	7	8	2	23	15
	延利用者数	0	0	0	91	127	154	60	432	404
7	実人員	0	0	0	5	5	7	2	19	24
	延利用者数	0	0	0	56	142	161	62	421	439
8	実人員	0	0	0	5	5	7	2	19	23
	延利用者数	0	0	0	53	144	147	62	406	486
9	実人員	0	0	3	5	6	6	2	22	26
	延利用者数	0	0	35	72	152	114	28	401	406
10	実人員	0	0	2	5	8	8	0	23	16
	延利用者数	0	0	19	84	184	138	0	425	354
11	実人員	0	0	0	5	9	7	1	22	22
	延利用者数	0	0	0	60	187	158	27	432	360
12	実人員	0	0	1	3	8	8	3	23	21
	延利用者数	0	0	4	58	220	202	54	538	432
1	実人員	0	0	1	4	9	10	3	27	24
	延利用者数	0	0	6	42	194	226	69	537	374
2	実人員	0	0	1	4	8	10	2	25	21
	延利用者数	0	0	7	48	187	239	49	532	361
3	実人員	0	0	3	7	6	10	0	26	23
	延利用者数	0	0	24	90	151	201	0	466	465
計	実人員	0	1	13	58	90	95	21	278	256
	延利用者数	0	3	111	748	2,159	2,112	500	5,633	4,912
昨年度	実人員	0	4	24	49	74	73	32	256	
	延利用者数	0	9	232	662	1,731	1,475	803	4,912	

3 在宅事業部

1) 通所介護室

(1) 処遇方針について

(通所介護)

- ・昨年度は、利用者様一人ひとりの心身の状態やご希望を丁寧に把握しながら、個別性を大切にした支援を実践してまいりました。あわせて、ご家族様の介護負担の軽減や、住み慣れた自宅での生活を末永く続けていただけるよう、生活機能の維持・向上に向けた取り組みを行いました。利用者様が「また来たい」と感じていただけるよう、楽しく充実した時間をご提供できるよう努めるとともに、安全・安心・信頼を基本とした質の高い通所介護サービスを通じて、ご利用者様・ご家族様の満足度向上にも継続して取り組んでまいりました。

(第1号通所事業)

- ・昨年度は、要介護状態への移行を防ぐことを念頭に置きながら、利用者様それぞれの思いやご意向を丁寧に受け止め、心身機能の維持・改善および生活環境の整備に努めてまいりました。日常生活

における活動の幅を広げ、地域や社会とのつながりを深められるよう、社会参加の促進にも積極的に取り組みました。また、利用者様が「楽しい」「またやりたい」と感じながら前向きに参加できるよう工夫を重ね、生きがいや充実感を持ちながら自立した生活を続けていただけるよう、予防事業の充実を図りました。

（２）年間目標について

（通所介護・第１号通所事業共通）

- ①体験利用のご依頼に際しては、受け入れ調整を迅速かつ丁寧に行うとともに、初めてご利用される方が緊張せず楽しく過ごしていただけるよう、他の利用者様とのコミュニケーションの橋渡しを積極的に行うなど、職員一同が温かく関わることを意識して取り組んだ。
- ②札幌市による運営指導を受け、その後はケアマネージャーが作成したケアプランの内容に沿って通所介護計画書を適切に作成するとともに、その計画書に基づいたケアの提供およびモニタリングを継続して実施した。
- ③体操や午後のレクリエーション活動については、内容がマンネリ化しないよう定期的に見直しを行い、身体機能や認知症状の程度に個人差がある利用者様全員が楽しく参加できるよう、活動内容や進め方を工夫・配慮した。
- ④送迎時にご家族様からいただいた情報や、LINE を通じた連絡内容については、デイサービス全体で速やかに情報を共有し、対応に差異が生じないように統一した対応を心がけることで、迅速かつ一貫したサービス提供に努めた

（３）年間計画について

- ・既定の行事については、概ね予定どおり実施することができた。感染状況も落ち着いてきた為、外出レクでは楽しんで頂ける内容を企画した。食事に関する行事にも力を入れて、毎回嗜好を凝らした内容を考え、皆さんが楽しんでいただけるよう企画を行った。

（４）事故・ヒヤリ事故報告

① 件数報告

令和７年４月１日～令和８年３月３１日

分類別事故報告		昨年度	発生状況別事故件数		昨年度
転倒・転落	8	6	介助中	7	8
ヒヤリ転倒・転落	6	5	自立動作中	10	11
け が	1	0	食事中	3	1
ヒヤリけが	0	0	レク中	2	1
異食・誤飲	1	0	送迎時	1	3
ヒヤリ異食・誤飲	0	1	入浴中	3	0
誤薬	2	2	その他	2	3
ヒヤリ行方不明	0	1	不明	0	0
爪切り	0	5			
傷・痣	0	0			
その他	10	7			
合 計	28	27	合 計	28	27

※（ ）内はひび・骨折等

②事故の内容・結果報告

日時	事故対象者	事故内容	結 果
R7/4	デイサービス利用者	食直前に内服すべき薬があったが、与薬を行わないまま昼食の配膳をしてしまった。	施設賠償の有・ 
R7/4	デイサービス利用者	車イスからずり落ち、入口正面の壁側を向いて膝を曲げた状態で床に座っているのを発見する。	施設賠償の有・ 
R7/4	デイサービス利用者	入浴後にバルーンカテーテルを尿パックにつないだが、ペアンを外し忘れていた。	施設賠償の有・ 
R7/4	デイサービス利用者	食後、手のひらに食後薬をのせ服用してもらう。飲み終わるまで傍で確認していたが、手のひらから1錠落ちたのが見えていなかった。	施設賠償の有・ 
R7/5	デイサービス利用者	送迎時、次の車に乗車される利用者様の名前をアナウンスし、玄関までの移動中、通路脇にあった椅子に足を引っかけて前のめりに転倒。両膝と両手を付いてしまった。	施設賠償の有・ 
R7/6	デイサービス利用者	屋外で作業中の職員より「道路向かいの中古車販売店に、デイの利用者と思われる男性がいる」との連絡が入り、確認するとデイの利用者だったため、迎えに行った。	施設賠償の有・ 
R7/6	デイサービス利用者	昼食中、隣席の方から「何か変だよ」と声を掛けられた為、スタッフが対応に向かったところ、誤嚥していることが判明。処置後、病院へ搬送した。	施設賠償の有・ 
R7/7	デイサービス利用者	レクリエーションの為、ホール前方にて車椅子を並べて座っていた所「わー」という声が聞こえた為、様子を確認すると、本人が左側を下にして椅子から滑り落ちていた。	施設賠償の有・ 
R7/9	デイサービス利用者	昼食後、手のひらに薬を出し職員が目視で飲まれるまで確認したが、他の職員が隣席の利用者の介助の際、テーブルの下に薬が落ちているのを発見し、落薬した薬なので与薬させなかった。	施設賠償の有・ 
R7/9	デイサービス利用者	配膳した職員が、乳製品禁の利用者であることを把握しておらず、禁食用のおやつではなく通常のおやつを配膳してしまった。	施設賠償の有・ 
R7/10	デイサービス利用者	車椅子トイレにて、車イスに座った状態で洗面台にて手を洗う際、洗面台下の配管カバーに右足下腿が擦れてしまい、血が滲んでいると自席に戻ってから、本人より職員に報告があった。	施設賠償の有・ 
R7/10	デイサービス利用者	他の利用者の「あーっ」という声で振り向いた瞬間、床に尻もちをついている。トイレに行こうと思い立ち上がった際、椅子に足が引っ掛かり転倒した。	施設賠償の有・ 
R7/10	デイサービス利用者	テーブルの下で漢方薬の袋の口を調節している際に袋が横になり、中に入れていた錠剤が袋から出て床に落ちてしまった。	施設賠償の有・ 
R7/10	デイサービス利用者	歩行練習中に百合の会のデイケアへ繋がっているドアを開けていく人が居た為、行ってみようと思われ1人でデイケアまで行き、デイの利用者がこちらに来ていると電話があった。	施設賠償の有・ 
R7/10	デイサービス利用者	迎え時、車内の段差につまずき前のめりに転倒し膝をついてしまった。	施設賠償の有・ 

R7/12	デイサービス利用者	ふまねっと実施中、職員が支える介助を行っていたが、バランスを崩した際支えきれず左臀部を軽く床に付く形で転倒された。	施設賠償の有・ 
R8/2	デイサービス利用者	昼薬ケースに入っている食後薬を確認した際、食直前薬が残っている事に職員が気づき発見する。	施設賠償の有・ 
R8/3	デイサービス利用者	静養室にて臥床後、離床の声掛けを行い靴を履くのを確認後、その場を離れ、すぐに別の利用者を案内すると、膝を曲げてお尻を床に付いた横座りの状態で居る所を発見する。	施設賠償の有・ 
R8/3	デイサービス利用者	地域交流スペースにて尻餅をついた状態で、左膝を立て、右足は胡坐のような状態で手すりにつかまっていた所を発見する。	施設賠償の有・ 

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

分類別苦情相談件数		昨年度	内容別苦情相談件数		昨年度
トラブル	1	1	職員の対応	1	5
ヒヤリ苦情	0	1	その他	0	0
ヒヤリトラブル相談	0	3			
合 計	1	5	合 計	1	5

6) 利用者状況

① 利用者の年齢構成（令和8年3月現在実人数）

ア) 一般型

（単位：人）

性別 \ 年齢	64 以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 以上	計	昨年度
男 性	0	0	1	1	1	6	1	10	9
女 性	1	0	3	1	12	10	23	50	50
計	1	0	4	2	13	16	24	60	59
率（％）	1.6	0	6.6	3.3	21.6	26.6	40.0	100	100

イ) 介護予防（人）

（単位：人）

性別 \ 年齢	64 以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 以上	計	昨年度
男 性	0	0	0	1	0	2	1	4	1
女 性	0	0	2	2	1	4	4	13	6
計	0	0	2	3	1	6	5	17	7
率（％）	0	0	11.7	17.6	5.8	35.2	29.4	100	100

② 年間利用者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月	開設 日数 (日)	形 式	実 人 員	新 規	廃 止	延 べ 利 用 人 員	一 日 平 均 利 用 者 数	形 式	実 人 員	新 規	廃 止	延 べ 利 用 人 員	一 日 平 均 利 用 者 数
4	22	一般	59	3	2	446	21.2	予防	12	1	1	53	2.4
5	22	一般	62	3	0	503	22.9	予防	10	0	0	49	2.7
6	21	一般	63	1	0	498	23.7	予防	11	1	0	55	2.6
7	23	一般	60	0	3	500	21.7	予防	11	0	0	61	2.7
8	21	一般	59	1	2	451	21.5	予防	12	1	0	49	2.4
9	22	一般	61	2	0	470	21.4	予防	13	1	0	69	3.1
10	23	一般	61	3	3	485	21.1	予防	13	0	0	69	3.0
11	20	一般	57	0	4	417	20.9	予防	14	1	0	64	3.2
12	21	一般	57	0	0	411	19.6	予防	16	2	0	79	3.8
1	20	一般	60	4	1	394	19.7	予防	17	3	2	73	3.6
2	20	一般	60	1	1	411	20.6	予防	18	2	1	84	4.2
3	22	一般	59	2	2	473	21.5	予防	18	0	0	74	3.7
計	257	一般	718	20	18	5,479	21.3	予防	165	12	4	779	3.0
昨年度	252	一般	640	30	19	4,902	19.5	昨年度	94	9	4	461	1.8

※実人員は、当該月に1回でも利用のあった者（当該月に4回利用した人も1人とカウントする）

※延べ利用人員は、当該月の利用人数の合計（例 当該月に4回利用した場合は4とカウントする）

※廃止内訳（介護保険施設入所、長期入院、転居、死亡、本人希望、その他）

③ 要介護度別利用者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月	型	要支援		要介護						昨年度
		1	2	1	2	3	4	5		
4	一般	18(5)	30(5)	194(26)	164(22)	71(7)	13(2)	16(1)	506(68)	445(58)
5	一般	15(4)	35(6)	200(27)	177(23)	79(6)	17(2)	16(1)	539(71)	321(57)
6	一般	13(4)	42(7)	213(27)	171(22)	73(8)	15(2)	15(1)	542(71)	413(54)
7	一般	16(4)	44(7)	205(25)	176(23)	72(8)	15(2)	16(1)	544(70)	512(58)
8	一般	9(3)	40(8)	189(24)	164(22)	57(6)	14(2)	15(1)	488(66)	471(58)
9	一般	16(4)	53(9)	215(26)	155(22)	62(7)	8(1)	15(1)	524(70)	461(57)
10	一般	15(4)	54(9)	225(27)	155(21)	64(8)	16(2)	15(1)	544(72)	455(58)
11	一般	13(4)	54(11)	184(25)	137(19)	52(6)	17(2)	14(1)	471(68)	494(61)
12	一般	22(6)	57(10)	182(24)	155(20)	43(5)	17(2)	14(1)	490(68)	428(57)
1	一般	25(7)	45(10)	178(26)	144(20)	41(5)	20(3)	14(1)	467(72)	430(60)
2	一般	26(8)	47(9)	192(27)	156(20)	42(5)	18(3)	14(1)	495(73)	435(64)
3	一般	23(6)	44(8)	198(24)	184(22)	49(5)	34(6)	15(1)	547(72)	490(67)
総 計		209 (59)	547 (99)	2,373 (308)	1,937 (256)	708 (78)	204 (29)	179 (12)	6,157 (841)	5,355 (709)
		3.4%	8.9%	38.5%	31.5%	11.5%	3.3%	2.9%	100%	100

数字は延べ人員（ ）内は実利用者数

③ 行事報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月 日	行事名	参加者	内 容	反省・特記事項
毎月	誕生会	全 員	誕生者の紹介 誕生カードの贈呈	・手作りのカードを渡し、皆様にお祝いされて、とても喜ばれていた。
4/22 (火)	ランチ バイキング	利用者全員	「北海道の食材」を テーマにバイキング を企画。	・おにぎりは小ぶりでもよかった。焼くと堅いので焼かない方が食べやすかったのではないかな。 ・おかずの種類が多かったで、品数を減らしてみてもよいと思う。(唐揚げが大きめだった) ・枝豆や焼き鳥が硬く、焼き鳥は串から外せない方が多く、残ってしまった。 ・味は全体的に好評で、皆さん喜ばれていた。
4/23 (火)	デザート 屋台	利用者全員	焼きたての桜餅を目 の前で焼き出来立 てを召し上がって いただく	・量がちょうど良かった。 ・見た目も春らしく、おいしいと好評だった。おかわりをする方も多かった。 ・皮が柔らかくて食べやすいとの声が複数の方から聞かれていた。
5/22 (木)	ランチ バイキング	利用者全員	「お花見」をテーマ にバイキングを企 画。	・彩りが良くとても綺麗だった。量もちょうど良かった。 ・三色いなりはご飯の色を見せるように盛り付けられたら良かった。 ・全体的にとっても好評で、皆さん喜ばれていた。
5/23 (金)	デザート 屋台	利用者全員	焼きたてのたい焼き を目の前で焼き出 来立てを召し上が っていただく	・生地と具材の量が多かった。 ・餡子とカスタードクリームを用意したが、餡子を頼む方の方が多かった。 ・「美味しい」と好評で、おかわりをする方も多く喜ばれていた。 ・レクの終了時間が遅く、生地を焼く時間も長かった為、時間配分を考えた方が良かった。
4/28 (月)～ 5/5 (月)	お花見 ドライブ	参加者 55 名	普段外出の機会が少 なくなっている為、 社内より桜の花を見 て季節を感じて頂く	・桜の開花状況を確認していて、車内から眺めたので、天候に左右される事もなく、どの曜日も見頃に合わせることが出来た為、皆様に大変喜ばれ満足して頂くことが出来たので良かった。 長距離が無理な利用者様には、近場の見頃なコースを見て頂き、多くの利用者様に参加して頂くことが出来た。
6/24 (火)	デザート 屋台	利用者全員	焼きたてのクレープ を目の前で焼き出 来立てを召し上が っていただく	・皆さん「美味しい」と喜ばれていた。 ・生地が美味しいと評判で生地だけおかわりした方もいた。 ・量も丁度よく数回おかわりする方がいた。
6/27 (金)	ランチ バイキング	利用者全員	「お祭りを」をテー マにご自身で好き なものを選び召し 上がって頂く	・料理の彩りがよかった ・みそおでんのみそだれを最後にかけてもよかった。 ・料理の並べる順番を考えて流れよく盛れたらよかった。 ・あげいも・フランクフルトにケチャップがあつたらよかった。

7/1～4 (火～金)	野外食	参加者 60名	ジンギスカンや焼き鳥、おにぎり、うどん、スイカを提供し中庭で食べて頂く	・冷茶が足りなかったので、多めに用意すると良かった。 ・日によっては、お腹がいっぱいになり、うどんを食べられない方がいたので、もう少し早くうどんを提供すると良かった。 ・半数以上の方がノンアルコールビールを飲まれ、とても好評だった。
7/30 (火)	デザート屋台	利用者全員	かき氷の提供。	・コロナ感染者がでた為感染拡大と感染予防で中止とした。 ・厨房と相談し、通常のおやつを出して頂いた。
7/30 (水)	ランチバイキング	利用者全員	「ピクニック」をテーマで屋台を中心に多くの料理を選んで食べて頂く	・コロナ感染者がでた為、感染拡大と感染予防を考慮し中止とした。 ・厨房と相談し、少しでもピクニック気分を感じて頂きたく、お弁当箱に詰めて提供した。
7.8月 晴天時	ソフトクリームツアー	参加者 54名	天気の良い日に近隣のFURUTAへソフトクリームを食べに行く	・ソフトクリームショップでは飲用水がなかったため、2日目以降は冷水を持参した。次年度も持参したほうが良い。 ・翌日の天気予報に合わせて1日に2回実施するなど、臨機応変に行うことができた。
8/18 (月)	ランチバイキング	利用者全員	「納涼」をテーマで屋台を中心に多くの料理を選んで食べて頂く	・麺類を予定していたが、喉つまりのリスクが高いことから、テーマを「納涼」に変更して実施した。カップ散らし寿司やゼリーなど、彩り良く涼し気な見た目が好評だった。 ・えびの天ぷらが特に喜ばれた。量もちょうどよく「全部美味しかった」という声も聞かれていた。
8/20 (水)	デザート屋台	利用者全員	目の前でかき氷を作り、好みに応じたシロップやトッピングを乗せて提供する。	・コロナ感染者がでた為感染拡大と感染予防でデザート屋台中止とし、通常のおやつとして提供した。 ・通常のおやつとして提供したが、「美味しい」と喜んで召し上がっていた。お代わりされる方もいました。
9/10.12 (水・金)	敬老祝賀会	利用者全員	花束・記念品の贈呈 対象者の記念撮影 DVD鑑賞	・あの日あの時映像は、特別感があり「懐かしいね」等利用者様に喜ばれていた。 ・百寿の方のご家族に写真をお借りし当時の様子等を家族に伺い映像を作成したのはよかった。
9/16～ 10/3 (月～金)	バスレク	参加者 45名	さとらんどに行き、工場見学やSLを利用したの散策、お土産コーナーでのお買い物。	・バスレクの日時を家族に事前にお伝え出来ず当日のご案内となってしまったためご家族に迷惑をかけてしまった。来年度は伝え忘れが無いよう確認し、連絡する。 ・バスレクに参加された利用者からは「とても楽しかった」と好評であった。
9/22 (月)	デザート屋台	利用者全員	「ベビーカステラ」を目の前で出来立てを召し上がって頂く	・たこ焼き器で生地を焼き、チョコ・カスタードクリームそれぞれを入れて提供した。お代わりされる方も多く、皆さん美味しいと喜ばれていた。
9/25 (木)	ランチバイキング	利用者全員	秋の味覚料理をテーマに多数の料理を食べ頂いた	・お代わりされる方もいて、皆さん喜んで食べられていた。 ・鮭の大きさが半分でもよかった。
10/30 (木)	デザート屋台	利用者全員	「どら焼き」を目の前で出来立てを召し上がって頂く	・焼き上がった生地が大きく少し小さくして提供すべきであった。 ・量が丁度良く生地が残る事なかった。

10/31 (金)	ランチ バイキング	利用者全員	洋食をテーマに多数の料理を食べて頂いた	・メニューは好評でおかわりする方が多かった。 ・料理はほとんど残らず、全体量も適切だった。 ・スパゲティは短めのカットで食べやすかった。
11/26 (水)	デザート 屋台	利用者全員	「芋餅」を目の前で出来立てを召し上がって頂く	・焼初めの時間がちょうど良く(14:35 分頃)温かいうちに提供できて良かった。 ・餡・みたらし共に好評で、複数回お代わりする方もいた。 ・必要に応じて一口大にカットして提供し、全体に向けて喉つまり注意喚起の声掛けを行った。皆様ムセなど無く召し上がっていた。
11/25 (火)	ランチ バイキング	利用者全員	「寿司」をテーマにご自身で好きなものを選び召し上がって頂く	・メニューは好評で美味しかったと話される方も多く、多くの方が完食されていた。 ・お代わりの声掛けを行ったが、希望者は少数だった。声掛けだけでは無く、お代わり用のお寿司を見せながらお代わりを勧めれば良かった。
12/18 (木)	デザート 屋台	利用者全員	「きゃあ餅」を目の前で出来立てを召し上がって頂く	・温かいうちに提供できて良かった。 ・必要に応じて一口大にカットして提供したのがよかった。
12/24. 25 (水・木)	クリスマス会	利用者全員	カラオケ、ビンゴ大会終了後、ケーキ・飲み物の提供。カレンダー配布後、きよしこの夜を皆さんで合唱し閉会。	・1日目にサンタ登場時のインパクトに欠けていた反省を修正し、2日目のサンタの登場時鈴の音とその音楽を流したことで、雰囲気が出てよかった。 ・利用者様からは、料理も良かったし、楽しかったとの声が聞かれていた。
1/5. 6 (月・火)	新春 お楽しみ会	利用者全員	新春の祝い、餅つきをする。	・餅つきや余興等、利用者様が楽しんで参加され、とても喜ばれていた。 ・今年も柔らか餅を提供し、食形態にも配慮したのでトラブルなく召し上がって頂けた。
1/27 (火)	デザート 屋台	利用者全員	ワッフルを目の前で焼き出来立てを味わって頂く	・好評で複数回お代わりする方もいた。 ・必要に応じて一口大にカットして提供したのがよかった。
1/28 (水)	ランチ バイキング	利用者全員	「おでん」をテーマに自身で選ぶ楽しみを味わって頂く	・ロールキャベツが人気でおかわりもあったが、繊維が噛み切れず、食べずらそうな利用者様が数名いた。ハサミで刻めば食べられたので今後は提供時に刻んで提供する。 ・五目しんじょが見た目にもきれいで彩りも良かった。
2/3 (火)	節分	利用者全員	節分の由来について説明し、年男・年女の紹介後豆まきを実施	・前回新聞紙とブルーシート両方使用していたが、豆まきの片付けの際踏まれないように工夫したことにより今回はブルーシートのみで綺麗に片付ける事が出来た。 ・おやつの際、普通食(落花生)の方と禁食(たまごボーロ)の方が同じテーブルに混在していたため、禁食の方に落花生をあげようとする場面が見られ声掛けが必要であった。
2/20 (金)	デザート 屋台	利用者全員	チョコクレープを目の前で焼き出来立てを味わって頂く	・トッピングの果物が多く、「豪華だね」と喜ばれた。 ・生地がいつもよりやや硬めだったので、必要に応じて一口大にカットして提供した。

2/26 (木)	ランチ バイキング	利用者全員	「中華料理」をテーマにご自身で選ぶ楽しみを味わって頂く	・バンバンジーを最初から混ぜ合わせ提供し、おかわりする方もいて好評だった。 ・麻婆豆腐がカップに入りすぎて、見栄えが悪かった。
3/3 (木)	ひな祭り	利用者全員	ひな祭りの由来を説明。レクリエーション「お雛様を飾りましょう」を行う	・ひな祭りの由来など15分程度と時間配分としては良かった。 ・行事の前後の時間やレクの際、顔出しパネルにて、写真を撮る事で、待ち時間への解消につながった。
3/27 (金)	ランチ バイキング	利用者全員	「北海道の食材」をテーマにご自身で選ぶ楽しみを味わって頂く	・お皿に盛り付けた際に空いているスペースができてしまい、見た目が淋しく感じられた。 ・飲み込みの不安な方にはジギスカンや揚げ物はカットして提供し、問題なく食べることができていた。
3/24 (月)	デザート 屋台	利用者全員	さくらパンケーキを目の前で焼き出来立てを味わって頂く	・最初に焼く生地が大きく皿に盛った際の見栄え悪くサイズを変更し小さめで提供すると「丁度いい、食べやすい」などの声もあった。

④ 曜日別稼働率 (%)

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月 曜日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
月	80.0	72.9	84.6	80.7	77.1	76.6	72.1	66.4	68.6	56.4	72.9	62.9	79.2%
火	82.1	68.6	67.9	58.9	57.9	64.0	66.4	69.3	69.3	72.9	72.1	77.1	75.1%
水	68.6	60.7	61.4	55.4	57.9	63.6	64.0	63.6	67.1	71.4	70.7	68.6	70.3%
木	57.1	65.4	65.7	63.4	58.6	55.7	50.3	52.9	51.4	52.1	60.0	63.6	63.3%
金	73.6	80.6	86.4	85.7	77.7	79.3	85.7	84.3	76.4	80.7	77.9	83.6	88.4%
合計	72.3	69.7	73.2	68.8	65.8	67.8	67.7	67.3	66.6	66.7	70.7	71.1	75.3%
昨年度	67.6	56.1	69.2	74.2	71.4	73.3	65.9	78.6	71.3	71.8	72.7	77.8	70.9%

※ 数字は一般（介護予防も含む）合計の稼働率（ $=x/35 \text{ 名} \times 100\%$ ）※昨年度の稼働率（ $=x/30 \text{ 名} \times 100\%$ ）

⑤ 入浴実施率（

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数	519	552	553	558	500	538	554	481	490	467	495	547
入浴者数	396	432	423	443	390	415	427	372	386	360	379	436
入浴実施率	76.7%	78.3%	76.5%	79.4%	78.0%	77.1%	77.1%	77.3%	78.8%	77.1%	76.6%	79.7%

⑤ 地域別利用者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

地 区	人 数	割 合	地 区	人 数	割 合
篠 路	23人	30.3%	北20条～北40条	6人	7.9%
太 平	14人	18.5%	篠路町	3人	3.9%
百合が原	5人	6.6%	茨 戸	0人	0%
拓 北	7人	9.3%	新 川	1人	1.3%
屯 田	6人	7.9%	麻生町	3人	3.9%
あいの里	2人	2.6%	東 区	3人	3.9%
新琴似	3人	3.9%	合 計	76人	100%

2) 居宅介護室

・居宅介護支援事業所

(1) 処遇方針について

法令遵守を基本に、制度改定やインフォーマルサービスの情報収集は適宜行い、ケアマネ間で確認し周知を行った。また、利用者、家族の意向を把握し、自立支援となるケアプラン作成を心掛けた。相談があった場合は事業所の状況を確認し、サービス調整や訪問など迅速な対応に努めた。

(2) 年間目標について

- a 他居宅の閉鎖に伴い、7月に20件の利用者を引き継ぎました。その後も、病院をはじめ、過去に担当した利用者ご家族やご近所の方から新規依頼が続いています。終了者数を上回る新規獲得ができしており、目標額を達成することができました。また、相談のみで終了したケースにおいても、半年以上経過した後に再度、担当者を名指しで相談が寄せられ、新規登録者として利用開始に至った事例もありました。これらは、日頃から誠実かつ丁寧な対応を心がけてきた結果であると考えています。今後も、利用者様・病院・他特養施設等に対し、誠意をもって迅速に対応することを意識して業務にあたります。さらに、就業されている利用者ご家族の利便性向上のため、ビジネスLINEも活用しながら、引き続き業務に取り組んでいきたいと思ひます。今後は特定事業所加算算定の要件である「ケアプランデータ連携システム」も活用して行きたいと思ひます。
- b 困難ケースも多く、事業所内で事例検討会を開き問題解決に向け話し合いを行った。他居宅や包括支援センター、行政などとも連携を取り解決に向けての支援を行った。
- c お客様アンケートでは前回のものから更に内容を見直し、評価しやすいものに作り直し実施しました。返答の中で、ケアマネに対し感謝の言葉をかけて下さる方もおり、仕事をするうえで励みになっています。今後ともご利用者様・御家族様に満足していただけるように努めます。
- d 自己研鑽のため、個々で必要な研修に積極的に参加しています。研修したものを事業所内で発表することで自分の振り返りや他のケアマネの認識の確認等行えています。
他法人との事例検討会では困難ケースを中心にを行ったことで、今後の業務に活かせる内容となりました。
- e 用紙の両面活用、裏紙使用、こまめな電源OFF等、節電を各自心がけました。現在は希望事業所には書類をPDFに変換しメール送信やビジネスLINEを使用し、情報交換やスケジュール確認・調整等を行っています。今後とも個人情報には細心の注意をしながら、引き続き電話代、切手代などの節約等に努めます。
- f 令和6年11月26日の運営指導後も適切な運営を心掛け業務を行っております。

(3) 事故・ヒヤリ事故報告

該当なし

(4) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:件)

分類別苦情相談件数		内容別苦情相談件数	
ヒヤリ苦情	0	対応の不備・確認不足	0
合 計	0	合 計	0

(5) 利用状況

① 要介護度別利用人数

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:人)

月	区 分	要支援			要 介 護						合 計	昨年度
		1	2	計	1	2	3	4	5	計		
4	実人数	12	13	25(12.5)	56	37	18	12	5	128	153(140.5)	151(137.5)
5	実人数	12	12	24(12)	58	41	19	12	4	134	158(146)	151(137.5)
6	実人数	12	12	24(12)	56	38	16	14	4	128	152(140)	143(130)
7	実人数	11	11	22(11)	62	47	20	14	5	148	170(159)	146(13.5)
8	実人数	11	11	22(11)	65	49	21	17	6	158	180(169)	145(13)
9	実人数	12	11	23(11.5)	68	46	21	15	6	156	179(167.5)	168(155.5)
10	実人数	11	10	21(10.5)	66	46	20	16	7	155	176(165.5)	160(147)
11	実人数	11	10	21(10.5)	70	46	25	19	6	166	187(176.5)	156(143)
12	実人数	11	11	22(11)	67	44	20	16	7	154	176(165)	150(136)
1	実人数	10	10	20(10)	65	48	19	20	6	158	178(168)	149(136)
2	実人数	10	8	18(9)	65	47	20	20	6	158	176(167)	151(138)
3	実人数	7	6	13(6.5)	63	48	19	21	4	155	168(161.5)	152(138)
計	実人数	130	125	245(127.5)	761	537	238	196	66	1798	2053(1925.5)	1,822(1425)
昨年度	実人数	146	166	312(156)	665	435	188	110	112	1,510	1,822(1425)	

③ サービス別利用件数

令和7年4月1日～令和8年3月31日(単位:人)

サービス種別	事業所件数	利用者数(延べ)	利用者数(実)	利用率	昨年度
訪問介護	26 事業所	431 名	422 名	12%	11%
訪問入浴	2 事業所	15	15 名	0.3%	0.1
訪問看護	22 事業所	324 名	324 名	9%	8.7%
訪問リハビリ	7 事業所	175 名	175 名	5%	5.8%
通所介護	21 事業所	747 名	737 名	21%	23%
認知症通所介護	1 事業所	2 名	2 名	0.1%	0.1%
地域密着通所介護	10 事業所	126 名	126 名	3.5%	3.9%
通所リハビリ	8 事業所	229 名	229 名	6.4%	3.3%
福祉用具貸与	25 事業所	887 名	885 名	25%	26%
短期入所介護	12 事業所	386 名	375 名	11%	10%
短期入所老健	6 事業所	11 名	11 名	0.2%	0.5%
小規模居宅介護	4 事業所	5 名	5 名	0.1%	0.1%
定期巡回訪介看	2 事業所	234 名	234 名	6.4%	7.5%
合 計	146 事業所	3572 名	3540 名	100%	100%
昨年度	128 事業所	2,837 名	2,785 名	100%	

・介護予防センター百合が原

(1) 処遇方針について

コロナウイルス感染症の取り扱いが 5 類に変更されてから数年が経過し、介護予防教室や地域主催のサロン等の新規参加者や数年ぶりに来られる参加者が徐々に増えてきている。介護予防教室は昨年度から続く短期集中教室やウォーキング企画を行うことで介護予防の機会を地域で増やすことが出来た。地域主催のサロンについては、まちづくりセンターが改修工事(令和 8 年 3 月まで)のため、オンライン教室に参加できないとの相談を受け、サロン活動が途切れないようオニオンコート研修室を開放し、活動の継続をして頂いている。また、相談機関としては相談者が望むサービスの際に必要な機関へつなぐことで役割を果たすことが出来た。

(2) 年間目標について

①地域の介護予防活動及び介護予防が必要な対象者の把握

- ・相談の内訳として、介護保険サービス利用希望に関する相談が最も多く、次いで介護予防となっている。その他として、警察からの相談があり対応している。
- ・フレイル改善マネージャーがアプローチした方のリストが毎月届くため、予防センターで関わりのある方について共有している。また、その中から心配のある方について情報共有することで、お互いの支援に活かすことが出来ている。

②住民主体の介護予防活動の促進に向けた支援の強化

- ・介入の多かったサロンに対して、ご自身たちで運営していく事、予防センターが介入しない自主活動日を設けるなど自主化を促している。不安のないようにストレッチや筋トレ・口腔体操などを行えるよう支援し、月 2 回のうち 1 回は完全自主活動日となった。

③介護予防活動における高齢者の役割と活動の場づくりの強化

- ・前年度より実施していたお寺を活用した短期集中教室や料理を通した認知症予防教室は、自主化を促したが予防センターが主体で開催するなら続けたいという意見が多く、どちらも自主化には至らなかった。
- ・介護予防教室や既存のサロン等で物品の消毒や片付けなどを参加者が自身の役割として自主的に行っている。特に麻生地区すこやか倶楽部では会場設営を担ってくださっている参加者も数名おられる。
- ・リーダー育成では介護予防センター屯田と共催で実施。自主活動日に何をしたらよいか分からないという意見も聞かれていたことから、紙バンドを使用したコースター作りを行っている。また、サロンを運営する上での困りごとを話し合い、地域を越えて貴重な意見交換の場となった。

④様々な手法による効果的な介護予防活動の推進

- ・理学療法士と連携して体操カレンダーを作成、すこやか倶楽部や地域に 100 部程度配布した。普段自宅で体操をされない方へのきっかけ作りになった。
- ・毎年行っている百合が原公園でのウォーキングを今年度も企画し、全 4 回延べ 70 名ほどが参加されている。暑い時期の開催だったため、来年度は開催日の検討が必要である。

(3) 年間計画について

- ・地区地域ケア会議については、2 地区共に開催することが出来た。麻生地区では地区診断シートを活用し『独居・身寄りなし・経済的困窮・支援拒否ケース』『認知症の親と障がいを持つ子の世帯』の支援について、麻生地区内の居宅支援事業所・障がい支援事業所・クリニック・民生委員の協力の下、意見交換を行った。それぞれの役割やどこまで支援が出来るのか具体的に話し合う

ことができ、普段関わることの少ない介護予防センターの役割を知って頂くことが出来た。百合が原地区では、関係機関と町内の連携が希薄であることから『町内と関係機関との連携強化について』をテーマに困りごとや課題の共有を行った。地区社協・ボランティア団体・民児協・児童会館に出席いただき『他人からの介入に拒否的な世帯へのアプローチが難しい』『実態が分からない心配な世帯がある』『相談先が明確にわかるものが必要』とのご意見を頂いた。会議の結果を受け、地域の皆さまが活動の中で活用できるような、一目で相談先がわかる媒体の作成を予定。事前に福祉の会の代表者様に見守り活動の中や把握されている心配な世帯についてのアンケートを4月に実施予定。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

ヒヤリ 1件

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

該当なし

(6) 相談事業報告（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(ア) 相談件数

相談経路	電話	訪問	面接	その他	合計
① 本人	8	0	0	3	11
② 家族介護者	4	0	0	0	4
③ 家族・親族(②以外)	5	0	0	0	5
④ 知人・近隣住民	1	0	0	0	1
⑤ 介護支援専門員	0	0	0	0	0
⑥ 介護保険サービス事業所	0	0	0	0	0
⑦ 民生委員	1	0	0	0	1
⑧ 福祉のまち推進委員	1	0	0	0	1
⑨ 町内会	1	0	0	0	1
⑩ 医療機関	1	0	0	0	1
⑪ 行政機関	0	0	0	0	0
⑫ 地域包括支援センター	3	0	0	0	3
⑬ その他	2	0	0	0	2
合 計	27 件	0 件	0 件	3 件	30 件

(イ) 相談内容 (重複項目あり)

相談内容	件 数
① 介護保険サービスの利用希望	12
② 介護保険制度 (①以外)	4
③ 介護予防	6
④ 保健福祉サービス	0
⑤ 高齢者虐待に関すること	0
⑥ 消費者被害に関すること	0
⑦ 権利擁護 (⑤・⑥以外、金銭管理含む)	0
⑧ 認知症に関すること	0
⑨ 心身の健康に関すること	1
⑩ 家族の疾病・障がいに関すること	0
⑪ 医療に関すること	0
⑫ 住まいに関すること	0
⑬ 処遇困難	0
⑭ 苦情	0
⑮ その他	9

(ウ) 相談結果

相談内容	件 数
① 継続支援へ(実態把握訪問等)	0
② 介護予防教室に参加	1
③ 地域介護予防活動に参加	0
④ 介護保険申請	1
⑤ 地域包括支援センター紹介	6
⑥ 関係機関紹介	5
⑦ 終結	17

(7) 介護予防事業報告 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

①すこやか倶楽部

(ア) 太平・百合が原地区

開催日		場 所	内 容	人 数
4 月	4 月 8 日 (火)	商工なかよし館	オリエンテーション どもん先生『がんばる～ん体操』	21 名
	4 月 21 日 (月)	内外太平会館	オリエンテーション サッポロスマイル体操	32 名
5 月	5 月 13 日 (火)	商工なかよし館	北区第2地域包括支援センター 『介護保険のお話』	20 名
	5 月 19 日 (月)	内外太平会館	KUMON『脳の健康セミナー』	35 名
6 月	6 月 10 日 (火)	商工なかよし館	サッポロスマイル体操	17 名
	6 月 16 日 (月)	内外太平会館	どもん先生『がんばる～ん体操』	32 名
	10 日 (火) 24 日 (火)	百合が原公園	体操、ウォーキング	27 名、16 名
7 月	7 月 8 日 (火)	商工なかよし館	古川先生 『笑って楽しく津軽弁体操』	19 名
	7 月 28 日 (月)	内外太平会館	古川先生 『笑って楽しく津軽弁体操』	25 名
	8 日 (火) 22 日 (火)	百合が原公園	体操、ウォーキング	16 名、12 名
8 月	8 月 26 日 (火)	商工なかよし館	KUMON『脳の健康セミナー』	14 名
	8 月 18 日 (月)	内外太平会館	ヤクルト『健康と腸の関係』	32 名
9 月	9 月 9 日 (火)	商工なかよし館	スマートライフリハ 『ボクササイズ』	17 名
	9 月 22 日 (月)	内外太平会館	山本先生『笑話歌声体操』	24 名
10 月	10 月 14 日 (火)	商工なかよし館	体力測定会	12 名
	10 月 20 日 (月)	内外太平会館	体力測定会	20 名
11 月	11 月 11 日 (火)	商工なかよし館	大高先生『演歌体操』	15 名
	11 月 17 日 (月)	内外太平会館	渡部理学療法士による運動指導	20 名
12 月	12 月 9 日 (火)	商工なかよし館	リズムファンタジー 『クリスマスコンサート』	17 名

	12月15日(月)	内外太平洋会館	リズムファンタジー 『クリスマスコンサート』	24名
1月	1月13日(火)	商工なかよし館	ヤクルト『健康と腸の関係』	17名
	1月19日(月)	内外太平洋会館	スマートライフリハ 『ボクササイズ』	23名
2月	2月10日(火)	商工なかよし館	転倒防止『ふまねっと』	14名
	2月16日(月)	内外太平洋会館	転倒防止『ふまねっと』	19名
3月	3月10日(火)	商工なかよし館	修了式&茶話会	13名
	3月16日(月)	内外太平洋会館	修了式&茶話会	24名
合計				577名

(イ) 麻生地区

開催日		場 所	内 容	人 数
4月	4月11日(金)	麻生地区会館	オリエンテーション サッポロスマイル体操	50名
	4月25日(金)		SMBC『特殊詐欺対策について』	40名
5月	5月9日(金)	麻生地区会館	山本先生『笑話歌声体操』	47名
	5月23日(金)		北区役所保健師 『生活習慣病のお話』	42名
6月	6月13日(金)	麻生地区会館	どもん先生『がんばる～ん体操』	40名
	6月27日(金)		レクリエーション大会	41名
7月	7月11日(金)	麻生地区会館	古川先生『津軽弁体操』	49名
	7月25日(金)		ライフランナー 『ゴムチューブ体操』	35名
8月	8月8日(金)	麻生地区会館	KUMON『脳の健康セミナー』	39名
	8月22日(金)		福井先生『健美操』	44名
9月	9月12日(金)	麻生地区会館	スマートライフリハ 『ボクササイズ』	40名
	9月26日(金)		(株)白寿生科学研究所 『認知症予防のお話』	32名
10月	10月10日(金)	麻生地区会館	体力測定会	21名
	10月24日(金)		体力測定会	18名
11月	11月14日(金)	麻生地区会館	大高先生『演歌体操』	36名
	11月28日(金)		コスモサークル作り	40名
12月	12月12日(金)	麻生地区会館	北海道栄養士会 『シニアのための栄養講座』	25名
	12月26日(金)		リズムファンタジー 『クリスマスコンサート』	44名
1月	1月9日(金)	麻生地区会館	ヤクルト『健康と腸の関係』	35名
	1月23日(金)		リハビリ専門職 『効果的な運動指導』	36名
2月	2月13日(金)	麻生地区会館	ボッチャ大会	33名
	2月27日(金)		転倒防止『ふまねっと』	35名
3月	3月13日(金)	麻生地区会館	ケンステップ	35名
	3月27日(金)		修了式&茶話会	38名
合計				895名

② ZOOM 倶楽部

開催日		場 所	内 容	人 数
4 月	4 月 2 日 (水)	オニオンコート 研修室	サッポロスマイル体操 ～ストレッチ～	5 名
	4 月 9 日 (水)		サッポロスマイル体操 ～筋トレ～	42 名
	4 月 16 日 (水)		明治安田生命『フレイルのお話』	9 名
5 月	5 月 7 日 (水)	オニオンコート 研修室	オーラルフレイル予防『口腔体操』	7 名
	5 月 14 日 (水)		理学療法士『体操指導』	35 名
	5 月 21 日 (水)		北区役所保健師『血圧講話』	14 名
6 月	6 月 4 日 (水)	オニオンコート 研修室	足腰を鍛えよう！筋力アップ①	9 名
	6 月 11 日 (水)		足腰を鍛えよう！筋力アップ②	39 名
	6 月 18 日 (水)		東徳洲会病院 『軽度認知障害のお話』	17 名
7 月	7 月 2 日 (水)	オニオンコート 研修室	タオル体操①	8 名
	7 月 9 日 (水)		タオル体操②	40 名
	7 月 16 日 (水)		北区役所保健師『熱中症のお話』	7 名
8 月	8 月 6 日 (水)	オニオンコート 研修室	いろいろな脳トレ問題にチャレンジ	9 名
	8 月 13 日 (水)		ストレッチで体をゆるめよう	19 名
	8 月 20 日 (水)		栄養士『夏バテ防止レシピ』	13 名
9 月	9 月 3 日 (水)	オニオンコート 研修室	バランス強化トレーニング	4 名
	9 月 10 日 (水)		理学療法士『体操指導』	37 名
	9 月 17 日 (水)		札幌市危機管理課『防災のお話』	12 名
10 月	10 月 1 日 (水)	オニオンコート 研修室	肩こり予防の体操	8 名
	10 月 8 日 (水)		はつらつ体操～ストレッチ編～	32 名
	10 月 15 日 (水)		雪印メグミルク(株)『骨・カルシウム セミナー』	7 名
11 月	11 月 5 日 (水)	オニオンコート 研修室	ヨガ講師による『椅子を使ったヨ ガ』	9 名
	11 月 12 日 (水)		はつらつ体操～筋トレ編～	34 名
	11 月 19 日 (水)		東徳洲会病院『感染症予防のお話』	15 名
12 月	12 月 3 日 (水)	オニオンコート 研修室	みんなのタッピー体操	10 名
	12 月 10 日 (水)		体も頭も動かしましょう！コグニサ イズ	35 名
	12 月 17 日 (水)		ヤクルト『睡眠とストレス』	7 名
1 月	1 月 7 日 (水)	オニオンコート 研修室	タオル体操	8 名
	1 月 14 日 (水)		理学療法士による運動指導	29 名
	1 月 21 日 (水)		白ゆり薬局『お薬のお話』	9 名
2 月	2 月 4 日 (水)	オニオンコート 研修室	冬道注意！転倒予防体操	19 名
	2 月 18 日 (水)		札幌市『高齢者の交通事故防止のポ イント』	7 名
3 月	3 月 4 日 (水)	オニオンコート 研修室	予防センターおすすめストレッチ	7 名
	3 月 11 日 (水)		予防センターおすすめ筋トレ	37 名
	3 月 18 日 (水)		歯科衛生士『お口のお話』	7 名
合計				606 名

③ 短期集中教室

(ア) 太平・百合が原地区(ふれあいクッキング)

開催日		場 所	内 容	人 数
4 月	4 月 30 日 (水)	太平百合が原地区 センター	お花見弁当(さつま芋ミルク赤飯、 さばカツ、だし巻き卵、大福)	8 名
5 月	5 月 28 日 (水)	太平百合が原地区 センター	キーマカレー、野菜スープ	9 名
6 月	6 月 30 日 (月)	太平百合が原地区 センター	海鮮チャーハン、バンバンジーサ ラダ、杏仁豆腐	8 名
7 月	7 月 23 日 (水)	太平百合が原地区 センター	塩焼きそば、冷しゃぶサラダ、フ ルーツポンチ	9 名
8 月	8 月 25 日 (月)	太平百合が原地区 センター	手打ちうどん、ミルクつけそうめ ん、ホエイピクルス	7 名
合計				41 名

(イ) 麻生地区(覚王寺健康教室)

開催日		場 所	内 容	人 数
4 月	4 月 8 日 (火)	覚王寺	転倒予防『ケンステップ』	10 名
	4 月 22 日 (火)	覚王寺	体力測定会	9 名
5 月	5 月 13 日 (火)	覚王寺	北区役所保健師 『生活習慣病のお話』	7 名
	5 月 20 日 (火)	覚王寺	サッポロスマイル体操 今後の活動について①	11 名
6 月	6 月 17 日 (火)	覚王寺	サッポロスマイル体操 今後の活動について②	2 名
合計				39 名

④ 太平斎場ふまねっと教室

開催日		場 所	内 容	人 数
4 月	4 月 3 日 (木)	太平斎場	ふまねっと	13 名
	4 月 15 日 (火)		ふまねっと	13 名
5 月	5 月 14 日 (水)	太平斎場	ふまねっと	12 名
	5 月 26 日 (月)		ふまねっと	8 名
6 月	6 月 11 日 (水)	太平斎場	ふまねっと	10 名
	6 月 23 日 (月)		ふまねっと	9 名
7 月	7 月 3 日 (木)	太平斎場	ふまねっと	8 名
	7 月 15 日 (火)		ふまねっと	11 名
8 月	8 月 8 日 (金)	太平斎場	ふまねっと	9 名
	8 月 20 日 (水)		ふまねっと	11 名
9 月	9 月 5 日 (金)	太平斎場	ふまねっと	12 名
	9 月 17 日 (水)		ふまねっと	8 名
10 月	10 月 10 日 (金)	太平斎場	ふまねっと	9 名
	10 月 16 日 (木)		ふまねっと	5 名
11 月	11 月 7 日 (金)	太平斎場	ふまねっと	9 名
	11 月 19 日 (水)		ふまねっと	5 名

12月	12月12日(金)	太平斎場	ふまねっと	10名
	12月23日(火)		ふまねっと	12名
1月	1月21日(水)	太平斎場	ふまねっと	4名
	1月27日(火)		ふまねっと	9名
2月	2月2日(月)	太平斎場	ふまねっと	9名
	2月18日(水)		ふまねっと	9名
3月	3月2日(月)	太平斎場	ふまねっと	6名
	3月19日(木)		ふまねっと	10名
合計				221名

⑤ その他

開催日		場所	内容	参加人数
10月	10月22日(水)	麻生まちづくりセンター	体操・脳トレ	80名
合計				80名

⑥ 地域福祉活動報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

支援先	主な支援内容	支援回数	参加人数
サロン：リリーラブ！元気の会	体操・脳トレ・ケンステップ	12回	93名
サロン：ポプラ会	体操・脳トレ・レクリエーション	13回	147名
サロン：スマイル up サロン	体操・脳トレ・茶話会	15回	122名
サロン：なかよしサロン	体操・脳トレ・ケンステップ	6回	41名
サロン：麻生元気塾	ケンステップ・体操	1回	38名
老人クラブ：太平商工クラブ	体操・脳トレ・ケンステップ・レクリエーション	5回	91名
老人クラブ：太平すずらん会	体操・脳トレ	3回	23名
老人クラブ：新生クラブ	体操・脳トレ	7回	149名
老人クラブ：寿楽会	体操・脳トレ	1回	20名
老人クラブ：喜楽会	フレイル予防講話・体操	1回	20名
老人クラブ：学田第二町内会	体操・ボッチャ	1回	11名
自主 G：たいゆり健康づくり教室	体操・脳トレ	12回	85名
日赤奉仕団太平百合が原分団	フレイル講話・体操	1回	26名
合計			866名

⑦ 自主活動化支援事業

教室名	日程	場所	人数
北区はつらつサポーター入門講座	9月1日(月)	北区民センター	4名
北区はつらつサポーター入門講座	9月8日(月)	北区民センター	5名
北区はつらつサポーター入門講座	9月29日(月)	北区民センター	4名
通いの場リーダーの集い	11月10日(月)	太平百合が原地区センター	3名
合計			16名

⑧ 札幌市機能強化事業

教室名	日程	場所	人数
はつらつ体操 Zoom 倶楽部	5 月 14 日	オニオンコート研修室	35 名
スマイル up サロン	6 月 12 日	ケアセンターら・せれな	9 名
リリーラブ！元気の会	7 月 18 日	パークサイドステーション	8 名
はつらつ体操 zoom 倶楽部	9 月 10 日	オニオンコート研修室	37 名
ポプラ会	12 月 4 日	麻生北町内会館	14 名
麻生地区すこやか倶楽部	12 月 12 日	麻生地区会館	25 名
麻生地区すこやか倶楽部	1 月 23 日	麻生地区会館	36 名
はつらつ体操 zoom 倶楽部	3 月 18 日	オニオンコート研修室	7 名
合計			171 名

⑨ 地区地域ケア会議

日 程	場 所	関係機関	内 容
12 月 15 日(月) 麻生地区	北区第 2 地域包括支援センター	地区各関係者	複合的な課題を抱える世帯へ支援していくためのネットワークづくり
2 月 19 日(木) 太平百合が原地区	太平百合が原地区センター	地区各関係者	町内と関係機関との連携強化について

【支援回数】

内 容	地域支援・地域活動回数
すこやか倶楽部	48 回
はつらつ体操 ZOOM 倶楽部	35 回
短期集中教室	10 回
太平斎場ふまねっと教室	24 回
単発教室(青空ウォーキング)	4 回
地域支援(サロン・老人クラブ・町内会等)	78 回
その他	1 回
広報物支援	22 回(延べ 201 名)
札幌市機能強化事業	8 回
自主活動化支援事業	4 回
地区地域ケア会議(太平百合が原・麻生)	(太平百合が原 1 回、麻生 1 回)
北区連絡会議	11 回
北区包括センター長会議	10 回
地区連絡会議(太平百合が原・麻生)	(太平百合が原 11 回、麻生 11 回)
合計	279 回

(1) 処遇方針について

コロナウイルス感染症が5類の取り扱いとなり数年が立ち、地域住民の感染対策が日常化しているとともに、他者交流の機会が徐々に増えてきている。それに伴い、イベントや介護予防教室の参加者も増加傾向にあり、フレイル予防や健康志向のシニア世代が増えている。

自宅で出来るセルフケアの普及啓発を続けながら、身体的な面だけではなく精神的な面でのフレイル予防も必要であることを伝えてきた。社会との繋がりを失うことで全身のフレイルに繋がるということを地域の皆様が理解し、行動した結果が介護予防活動の参加人数増加へ繋がったと考えられる。

また、今年度より介護予防活動の自主化推進のため、今まで介入してきた地域の通いの場への介入回数を月1回に統一。サロン全体で運営方法や内容を考えていただき、困りごとや助言を求められた際にバックアップするという体制を構築することが出来た。

(2) 年間目標について

①地域の介護予防活動及び介護予防が必要な対象者の把握

今年度より、屯田地区の相談窓口一覧を更新。高齢者の方がより見やすく、困りごとがあった時どこに相談したらいいかわかりやすいものを作成し、介護予防教室や地域支援先の他にも、定期支援に入らない老人クラブや民児協などの定例会に参加し相談窓口であることの周知を行った。

また、2～3ヶ月に1度のペースでエリア担当のフレイル改善マネージャーと情報共有を行ったり、北区第三地域包括支援センターが行う、全職員を対象とした介護予防教室見学会に協力させていただくことで、包括から介護予防教室へ地域の方々が繋がりやすい環境を構築した。

②住民主体の介護予防活動の促進に向けた支援の強化

(a) 短期体操教室の開催中止

今年度、通いの場の参加率を調べるにあたり、現在予防センターで把握している屯田地区内の通いの場全ての会館等へアプローチした結果、通いの場の参加率が14.24%の参加率であることが分かった。

よって札幌市介護保険課へ問い合わせたところ、札幌市の提示する「専門職と連携した介護予防機能強化業務」の「1.実施内容(1)自主活動化を目指した介護予防教室の実施」内に明記されている「すでに通いの場参加率が8.0%を超えており、十分に自主グループが存在する場合は、後述の(2)既存の団体等における介護予防活動の継続に向けた支援の実施を優先して差し支えない」との見解に従ってよいとの事で、今年度は短期集中体操教室の実施は行わず、コロナ禍以降、関係性が希薄だった老人クラブ4ヶ所、自主グループ1ヶ所へ見学に伺わせていただき、活動内容の把握に努め、予防センターの役割周知を行った。

(b) 地域における既存団体への働きかけ

自主運営の内容に困っているサロン等へ札幌市出前講座の紹介や低予算で作成できるレク物品の紹介を行い、実際に作成され自主運営で使用されている。

また、介護予防教室でも札幌市の機能強化事業や外部講師を利用し、マンネリ化せず楽しんで介護予防活動を行っていただけるよう工夫し普及啓発を促進することができた。

③介護予防活動における高齢者の役割と活動の場づくりの強化

自主活動化支援事業としてサポーター育成『北区はつらつサポーター入門講座（北区内7センター合同）』、リーダー育成『リーダーの集い（予防センター百合が原と共催）』を実施した。

介護予防教室のサポーターとして活躍くださっている方が前年より2名増え、4会場でサポーター数は合計7名となった。早く来た方も設営準備等お手伝いくださる方が増え、教室終了後は全て参加者様方で片づけを行ってくださっている。

活動の場づくりの一環として、介護予防教室にて参加者様の特技を披露していただく回を3月に設け、屯田地区の太極拳サークルに方々に参加されている5名の方々に披露していただいた。屯田地区は自主サークルが多くある為今後も活躍の場を考案していく。

④様々な手法による効果的な介護予防活動の推進

介護予防教室では年1回の体力測定会を10月に実施、地域の支援先ではご希望があったサロンを対象に10～12月にかけて実施した。体力測定会を実施した翌月は、体力測定会の結果を理学療法士と共に分析し、体操指導を実施。また、ハイリスクと判断された方へは理学療法士より個別指導を行っていた。

その他のセルフケア促進活動として、介護予防教室・地域の支援先・イベントにて「ながら体操」のリーフレットを303部配布した。

また、北区予防センター全体の動きとしてオーラルフレイル予防に注力することとなり、以前作成したはつらつ体操のオーラル版を作成することとなり、日本歯科衛生士会監修のもと作成中。

(3) 年間計画について

今年度は介護予防活動を全く知らない方々、介護予防というものは知っているが未参加の方々に介護予防を知っていただくために広報活動に力を入れた。

屯田地区へ全戸配布される機関誌「～屯田～」へ毎月の介護予防教室の予定を掲載していただくことができ、広報誌を見て介護予防教室へ参加された方が非常に多かった。さらに、第三地域包括支援センターや他区介護予防センター、フレイル改善マネージャーとの連携によって介護予防教室へ繋がった方も数名おり、今年度の新規介護予防教室参加者数は80名を超えた。

広報さっぽろ2月号掲載のフレイルに関する取材を受け、会場の様子や参加者様・サポーター様のお声も記事にさせていただくことができ、介護予防活動をPRすることが出来た

今後は、福まちや民生委員との関りをより濃くし、屯田地区の情報収集・共有を行いながらエリアニーズに合った介護予防普及活動を行っていく。

(4) 事故・ヒヤリ事故報告

事故2件 デイサービスふまねっと中に利用者様1名転倒

地区センターすこやか倶楽部終了後、参加者様1名転倒

(5) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

苦情1件 札幌市出前講座『特殊詐欺被害にあわないために』外部講師への苦情

(6) 相談状況

① 相談事業報告（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(ア) 相談件数

相談経路	電話	訪問	面接	その他	合計
① 本人	13件	1件	0件	7件	21件
② 家族介護者	13件	0件	0件	1件	14件
③ 家族・親戚	1件	0件	0件	1件	2件
③ 知人・近隣住民	0件	0件	0件	0件	0件
⑤ 介護支援専門員	1件	0件	0件	0件	1件

⑥介護保険サービス事業所	2 件	0 件	0 件	0 件	2 件
⑦民生委員	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
⑧福祉のまち推進委員	2 件	0 件	0 件	1 件	3 件
⑨町内会	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
⑩医療機関	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
⑪行政機関	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
⑫地域包括支援センター	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
⑬その他	3 件	0 件	0 件	0 件	3 件
合 計	36 件	1 件	0 件	10 件	47 件

(イ) 相談内容 (重複項目あり)

相談内容	件 数
① 介護保険制度	19 件
② 介護保険制度 (①以外)	7 件
③ 介護予防	15 件
④ 保健福祉サービス	0 件
⑤ 高齢者虐待に関すること	0 件
⑥ 消費者被害に関すること	0 件
⑦ 権利擁護	1 件
⑧ 認知症に関すること	2 件
⑨ 心身の健康に関すること	2 件
⑩ 家族の疾病・障がいに関すること	1 件
⑪ 医療に関すること	0 件
⑫ 住まいに関すること	1 件
⑬ 処遇困難	0 件
⑭ 苦情	1 件
⑮ その他	7 件

(ウ) 相談内容 (重複項目あり)

相談内容	件 数
①実態把握訪問	件
②介護予防教室に参加	4 件
③地域介護予防活動に参加	0 件
④介護保険申請	0 件
⑤地域包括支援センター紹介	14 件
⑥関係機関紹介	8 件
⑦終結	21 件

(7) 介護予防事業報告 (令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

① すこやか倶楽部 (創成の里記念会館・屯田西集会所・屯田地区センター・屯田団地会館・シニアヨガ)

開催日	場 所	内 容	人 数
4 月	9 日 (水)	オリエンテーション 体操 脳トレ	38 名
	10 日 (木)		19 名
	17 日 (木)		51 名
	24 日 (木)		19 名
	28 日 (月)	シニアヨガ	45 名
5 月	14 日 (水)	津軽弁体操	44 名
	8 日 (木)		17 名
	15 日 (木)		47 名
	22 日 (木)		23 名
	26 日 (月)	シニアヨガ	34 名
6 月	11 日 (水)	熱中症講話	42 名
	12 日 (木)		15 名
	19 日 (木)		36 名
	26 日 (木)		17 名
	23 日 (月)	シニアヨガ	43 名
7 月	9 日 (水)	創成の里記念会館	37 名

	10日(木)	西集会所	特殊詐欺講話	17名
	17日(木)	地区センター		31名
	24日(木)	団地会館		11名
	28日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	39名
8月	13日(水)	創成の里記念会館	介護保険講話	24名
	14日(木)	西集会所		16名
	21日(木)	地区センター		38名
	28日(木)	団地会館		18名
	25日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	49名
9月	10日(木)	創成の里記念会館	健美操	38名
	11日(水)	西集会所	演歌体操	15名
	18日(木)	地区センター	演歌体操	35名
	25日(木)	団地会館	健美操	20名
	22日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	42名
10月	8日(水)	創成の里記念会館	体力測定会	35名
	9日(木)	西集会所		13名
	16日(木)	地区センター		36名
	23日(木)	団地会館		16名
	27日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	44名
11月	12日(水)	創成の里記念会館	理学療法士による 体操指導	39名
	13日(木)	西集会所		15名
	20日(木)	地区センター		42名
	27日(木)	団地会館		24名
	17日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	36名
12月	10日(木)	創成の里記念会館	クリスマス会	41名
	11日(水)	西集会所		19名
	18日(木)	地区センター		42名
	25日(木)	団地会館		23名
	22日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	41名
1月	14日(水)	創成の里記念会館	タオル体操 ・ レクリエーション	31名
	8日(木)	西集会所		16名
	15日(木)	地区センター		44名
	22日(木)	団地会館		20名
	26日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	中止
2月	4日(水)	創成の里記念会館	認知症講話	32名
	12日(木)	西集会所		19名
	19日(木)	地区センター		中止
	26日(木)	団地会館		27名
	16日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	37名
3月	11日(水)	創成の里記念会館	修了式	35名
	12日(木)	西集会所		19名
	19日(木)	地区センター		42名
	26日(木)	団地会館		21名

	23 日(月)	創成の里記念会館	シニアヨガ	42 名
合計				1,771 名

③ 短期集中教室

実施せず（詳細は(2)処遇目標について②へ記載）

④ 共催イベント・イベント参加など

開催日		場 所	内 容	人 数
6 月	6 日(金)	屯田西公園	ウォーキング	3 名
10 月	4 日(土)	屯田地区センター	屯田健康フェア	125 名
10 月	6 日(月)	シーナシーナ屯田	認知症パネル展	90 名

⑤ 地域福祉活動報告

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

支援先	主な支援内容	支援回数	参加人数
カーサグランデージ	体操・脳トレ	2 回	16 名
高砂会	予防センターの役割周知・脳トレ	1 回	19 名
屯田 2 番通東熟年機クラブ	体操・レクリエーション	1 回	26 名
健歩教室	予防センターの役割周知・脳トレ	3 回	205 名
福寿会	体操・ケンステップ	1 回	14 名
すみれクラブ	体操・脳トレ・レクリエーション	12 回	126 名
ひまわり体操クラブ	体操・脳トレ・レクリエーション	10 回	88 名
みずほ西公園サロン	体操・脳トレ・レクリエーション	10 回	102 名
睦美会	体操・脳トレ	1 回	15 名
すこやか体操教室	体操・脳トレ・レクリエーション	12 回	163 名
七色の風クラブ	体操・脳トレ・レクリエーション	12 回	77 名
花園クラブ	体操・脳トレ・レクリエーション	11 回	122 名
きずな・シニア体操クラブ	体操・脳トレ・レクリエーション	12 回	144 名
あかしや元喜会	体操・脳トレ	2 回	28 名
合計		90 回	1145 名

⑥ 札幌市機能強化事業

教室名	日程	場所	人数
すこやか体操教室	4 月 11 日	屯田二番通東会館	15 名
七色の風クラブ	9 月 11 日	特別養護老人ホーム 七色の風	5 名
花園クラブ	11 月 4 日	屯田二番通東会館	9 名
創成の里記念会館 すこやか倶楽部	11 月 12 日	創成の里記念会館	42 名
西集会所すこやか倶楽部	11 月 13 日	屯田西集会所	15 名
すこやか体操教室	11 月 14 日	屯田二番通東会館	14 名
地区センター すこやか倶楽部	11 月 14 日	屯田地区センター	42 名
ひまわり体操クラブ	11 月 17 日	屯田 3 条西会館	7 名
花園クラブ	12 月 2 日	屯田二番通東会館	11 名
すこやか体操教室	12 月 12 日	屯田二番通東会館	13 名

ひまわり体操クラブ	12月15日	屯田3条西会館	8名
すこやか体操教室	1月9日	屯田二番通東会館	15名
合計			196名

⑦ 自主活動化支援事業

教室名	日程	場所	人数
北区はつらつサポーター入門講座	9月3日	大法寺	1名
北区はつらつサポーター入門講座	9月10日	大法寺	1名
北区はつらつサポーター入門講座	9月17日	大法寺	1名
通いの場リーダーの集い	11月10日	太平地区センター	4名
合計			7名

⑧ 地区地域ケア会議

日 程	場 所	関係機関	内 容
11月25日(火)	屯田西集会所 会議室	屯田西団地2.3号棟自治会役員、北区役所保健師、屯田まちづくりセンター、北区第三包括支援センター、北区社会福祉協議会	独居高齢者の閉じこもり防止について

【総支援回数】

内 容	地域支援・地域活動回数
すこやか倶楽部	47回
シニアヨガ	11回
広報物支援	33回(延べ：390名)
その他(ウォーキング)	1回
地域支援(サロン・老人クラブ、町内会等)	90回
札幌市機能強化事業	12回
自主活動化支援事業	4回
地区地域ケア会議	1回
北区連絡会議	11回
地区連絡会議	11回
合計	221回

4 地域交流事業

(1) 方針について

今年度も定着しているリラクゼーションスペースとしての機能を継続し、マッサージ器3台設置と共にゆったりとして頂けるスペース作りを目指した。

リハビリテイメントマシンの「ワニワニパニック」・「太鼓の達人」・「どきどきへび退治」は、リハビリ麻雀・パチンコ・スロット、ビリヤードなどのリハビリ機器と共に、特養やグループホームの皆様にも娯楽やリハビリに利用頂いていた。

その他スペースの有効利用として、音楽療法やフラワーアレンジメント教室の場として日々活用も継続している。

又、機能訓練スペースとして、肋木や滑車、平行棒、エアロバイクなどのリハビリ器具も継続して利用して頂いた。

売店の販売品目の中にデイサービスの利用者様から要望があった「菓子」は好評で、買い物を楽しんで頂いている。

今後も感染対策を継続しながら喫茶・売店を含め、入居者・利用者もちろん、皆様に気軽にリハビリや娯楽に利用し楽しんでいただくことで、皆様のコミュニケーション、介護予防に繋がるスペースとして活用して頂きたい。

5 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

（１） 処遇方針について

- ・これまで培われてきた入居者様の暮らしを大切に安らぎを持って生活が送れるよう支援を行った。
- ・日常生活において充実感や達成感を得られるよう家事活動・趣味の時間を通して役割や楽しみの機会を提供し個々の意欲や能力にあった活動が行えるよう支援を行った。
- ・安全に生活できる環境整備を行い不安なく自由に過ごして頂けるよう支援を行った。

年間目標について

- ① 入居者様との信頼関係を築きストレスによる認知症の進行を鈍化させながら、心身共に健康な生活を送れるよう支援を行った。
- ② 入居者様個々の希望を大切に活動範囲は広くないが公園の散策、近隣のお店に出掛ける事が出来た。
- ③ 日常の様子を観察し状態の変化に一早く気付けるよう心掛け、異常を確認した際は速やかに受診を行い重症化する事なく施設での生活が送れるよう支援を行った。
- ④ 日々の生活状況を日誌・記録に残し必要な情報を職員間ご家族様と共有しながら入居者様のケアに生かす事が出来た。又、日々の情報がケアプランの充実した内容に繋がりがご家族様の希望を含めた支援を行う事が出来た。
- ⑤ 施設内研修やケース会議において知識の充実に努め、介護保険法・社会規範に基づく支援を行える事が出来た。
- ⑥ 運営推進会議の場において定期的に地域の方と情報交換を行う事が出来た。
- ⑦ 感染症が入居者様に与える影響の大きさを職員は十分に理解・対応が出来た事で感染拡大に繋がる状況は発生しなかった。
- ⑧ 相談員連携会議を含め法人内の各部署との連携を図る事が出来ている。しかし、グループホームとしての PR 活動が不足していた為、待機者の確保に繋がらない状況がありスムーズな空室の移行が出来なかった。
- ⑨ アンケートの結果から概ねご理解を賜る事が出来た。ご家族様には受診後、面会時、特変時の連絡を行う事で入居者様の情報を共有する事ができ、都度ご意見ご希望を頂く事が出来ている。これからもご家族様と共に入居者様の安全・安心な生活が守れるよう努めていく。

（３） 年間計画

- ・概ね計画通り実施出来た。

（４） 個別誕生会報告

令和 8 年 3 月 31 日現在

実施月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施 件数	かつこう	0	0	1	1	1	0	3	0	0	1	0	1	8
	ゆり	0	1	1	1	1	0	0	1	0	3	1	1	10

(5) 事故・ヒヤリ事故報

① 件数報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

分類別事故報告	かっこう	ゆり	昨年計	発生状況別事故件数	かっこう	ゆり	昨年計
転倒・転落	5	5	12	介助中	60	62	116
ヒヤリ転倒・転落	0	0	0	臥床中	2	1	0
誤薬	2	6	8	自立動作中	56	60	103
傷・痣	144	129	298	その他・不明	36	26	122(1)
ヒヤリ行方不明	0	0	0				
むせ・つまり	0	0	1				
その他	3	9(1)	22(1)				
合 計	154	149	341(1)	合 計	154	149	341(1)

※ () 内はひび・骨折等、昨年計の数字はかっこう・ゆりの合計

② 内容・結果報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日時	事故対象者		事故内容	結 果
R7/ 4	入居者	かっこう	介助中に左手に裂傷。止血、保護を行う。	施設賠償の有・ 
R7/ 4	入居者	ゆり	パネルヒーター付近、錠剤を発見する。個人特定できず、体調不良者なし。	施設賠償の有・ 
R7/ 5	入居者	ゆり	居室内にて転倒。右大腿骨骨折の診断。入院治療。	施設賠償の有・ 
R7/ 6	入居者	ゆり	フロアテーブル下より錠剤を発見する。個人特定できず、体調不良者なし。	施設賠償の有・ 
R7/ 6	入居者	ゆり	薬の与薬忘れあり、体調不良なし。	施設賠償の有・ 
R7/ 6	入居者	かっこう	ベッド付近にて転倒。	施設賠償の有・ 
R7/ 7	入居者	かっこう	介助中に左腕に裂傷。止血、保護を行う。	施設賠償の有・ 
R7/ 7	入居者	ゆり	車椅子よりずり落ち。	施設賠償の有・ 
R7/ 7	入居者	ゆり	居室にて転倒。	施設賠償の有・ 
R7/ 7	入居者	ゆり	庭の花壇付近にて転倒。	施設賠償の有・ 
R7/ 9	入居者	ゆり	トイレ内にて錠剤を発見する。個人特定できず、体調不良者なし。	施設賠償の有・ 
R7/9	入居者	かっこう	食堂付近にて痛みの訴えあり。右膝に表皮剥離発見。保護を行う。	施設賠償の有・ 
R7/9	入居者	かっこう	フロア内テーブル付近にて転倒。	施設賠償の有・ 
R7/10	入居者	ゆり	他者の食形態の違う食べ物を食べてしまう。体調不良なし。	施設賠償の有・ 
R7/11	入居者	ゆり	居室内ベッド付近にて転倒。	施設賠償の有・ 
R7/11	入居者	かっこう	居室内ベッドよりずり落ち。	施設賠償の有・ 
R7/12	入居者	ゆり	口腔内に紙のような物が入っている。体調不良なし。	施設賠償の有・ 
R7/12	入居者	ゆり	他者の食形態の違う食べ物を食べてしまう。体調不良なし。	施設賠償の有・ 

R7/12	入居者	ゆり	フロア内テーブル下より錠剤を発見する。個人特定できず、体調不良者なし。	施設賠償の有・無
R7/12	入居者	かつこう	居室内ベッド付近にて転倒。	施設賠償の有・無
R8/1	入居者	かつこう	薬の与薬間違いあり。体調不良なし。	施設賠償の有・無
R8/1	入居者	ゆり	義歯が入っていない状態で食事を提供。体調不良なし。	施設賠償の有・無
R8/2	入居者	ゆり	食席の椅子よりずり落ち。	施設賠償の有・無
R8/2	入居者	かつこう	薬の与薬間違いあり。体調不良なし。	施設賠償の有・無
R8/3	入居者	かつこう	エレベーターにて1階に降りる。身体に異状なし。	施設賠償の有・無
R8/3	入居者	かつこう	居室内ベッド付近にて転倒。	施設賠償の有・無
R8/3	入居者	かつこう	薬の与薬忘れあり。体調不良なし。	施設賠償の有・無
R7/3	入居者	かつこう	廊下長椅子付近にて手すりに後頭部をぶつける。身体に異状なし。	施設賠償の有・無

(6) 苦情・ヒヤリ苦情、トラブル・ヒヤリトラブル報告

① 件数報告

分類別苦情相談件数	かつこう	ゆり	昨年度	合計内容別苦情相談件数	かつこう	ゆり	昨年度
苦 情	0	0	0	ケアの内容	0	0	0
ヒヤリ苦情	0	0	0	施設のハード	0	0	0
相 談	0	0	0	職員の対応	0	0	0
要 望	0	0	0	その他	0	0	0
ヒヤリトラブル	0	0	0				0
合 計	0	0	0	合 計	0	0	0

② 苦情内容・結果報告

苦情申し出者	申し出内容	結果
		第三者報告 有・無 未解決・解決

(7) 利用者状況

① 在所者状況

令和8年3月31日現在

在所者	男 性	7 名	女 性	10 名	合 計	17 名
-----	-----	-----	-----	------	-----	------

② 入居者年齢構成

令和8年3月31日現在（単位：人）

年齢 性別	64 以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95 以上	計
男 性	0	0	0	0	1	2	3	1	7
女 性	0	0	0	1	0	2	3	4	10
計	0	0	0	1	1	4	6	5	17
率	0%	0%	0.0%	5.8%	5.8%	23.5%	35.3%	29.4%	99.8%
最高年齢	96 歳 8 ヶ月		最小年齢	77 歳 9 ヶ月		平均年齢		90.4 歳	

③ 入所前居所

令和8年3月31日現在（単位：人）

居所 性別	居 宅	介護福祉 施 設	介護保健 施 設	介護療養 施 設	医療機関	社会福祉 施 設	その他	計
男	3	3	0	0	1	0	0	7
女	6	0	2	0	1	1	0	10
計	9	3	2	0	2	1	0	17

④ 要介護度別利用状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

性 別	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		計		合 計	平 均 介護度
	かっ こう	ゆり	かっ こう	ゆり	かっ こう	ゆり	かっ こう	ゆり	かっ こう	ゆり	かっ こう	ゆり		
男	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	5	2	7	1.86
女	1	2	1	1	0	2	1	1	0	1	3	7	10	2.60
計	3	2	3	3	1	2	1	1	0	1	8	9	17	2.29

⑤ 心身の状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

寝たきり度 認知症自立度		寝たきり度判定基準					
		自立	ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	計
認知症自立度 判定基準	ランクⅠ	0	0	7	0	0	0
	ランクⅡ	0	2	5	0	0	9
	ランクⅢ	0	0	0	2	0	7
	ランクⅣ	0	0	0	1	0	1
	ランクM	0	0	0	0	0	0
計		0	2	12	3	0	17

⑥ 月別入居状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月 性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4
女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	7

⑦ 入居者の動向

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

年 月	定 員	入 所	退所・退所理由			月末人員
			死亡	長期入院	その他	
7年4月	18	4	1	0	0	18
5月	18	0	0	0	0	18
6月	18	0	0	0	0	18
7月	18	0	0	0	0	18
8月	18	0	0	0	0	18
9月	18	0	0	0	0	17
10月	18	0	0	1	0	17
11月	18	1	0	0	0	18

12月	18	0	0	0	0	17
8年1月	18	1	0	1	0	18
2月	18	0	0	0	0	17
3月	18	1	1	1	0	17
計	216	7	2	2	0	211
昨年度	216	4	2	11	0	201

⑧ 施設在所期間

令和8年3月31日現在（単位：人）

在所期間 まる	6ヶ月 以内	6ヶ月～ 1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 10年未満	10年 以上	計	平均 在所期間
男	3	1	1	2	0	0	0	7	1年2ヵ月
女	0	2	2	2	1	3	0	10	4年2ヶ月
計	3	3	3	4	1	3	0	17	
最大 在所期間	7年11ヵ月		最小在所期間		0ヶ月未満		平均在所期間		2年9ヶ月

⑨ 入居者のADL状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

	区 分		かっこう	ゆ り	合 計	
歩 行	自 立 歩 行		1	4	5	
	歩行補助具使用し(杖、歩行器・手押し車)自立		1	0	1	
	手引き・歩行器具使用し介助		4	0	4	
	車椅子使用	自 立	0	0	0	
		要 介 助	2	5	7	
食 事	自 立		7	7	14	
	一 部 介 助		0	1	1	
	全 介 助		1	1	2	
入 浴	状 態	自 立	0	0	0	
		一 部 介 助	7	7	14	
		全 介 助	1	2	3	
	形 態	一 般 浴	0	0	0	
		介 助 浴	8	9	17	
		特 浴	0	0	0	
着 脱	自 立		0	0	0	
	一 部 介 助		7	7	14	
	全 介 助		1	2	3	
排 泄	昼 間	トイレ使用	自 立	5	3	8
			車いす使用	0	4	4
			誘 導	2	1	3
		便器使用	自 立	2	2	4
			介 助	5	6	11
		おむつ使用（簡易おむつを含む）		8	4	12
	間 夜	トイレ使用	自 立	5	3	8
			車いす使用	0	2	2
			誘 導	1	1	2

		便器使用 (ホータブル含)	自 立	2	2	4
			介 助	5	4	9
		おむつ使用（簡易おむつを含む）		8	4	12
整 容	自 立			5	3	8
	一 部 介 助			2	4	6
	全 介 助			1	2	3

※歩行・移動、排泄について重複あり

⑩ 月別入退院者状況

令和8年3月31日現在（単位：人）

入・通院 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
入院者数	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	5
退院者数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

⑪ 入院・通院状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

病 院 名	主な科目	通院者	入院者	病 院 名	主な科目	通院者	入院者
東 徳 洲 会 病 院	内 科		1	札幌北脳神経外科	脳外科		
	循環器科			麻生脳神経外科	脳外科		
	外 科			ちはる神経内科	内 科	1	
	整形外科			あんざい整形外科	整形外科	2	
札幌百合の会病院	内 科	346	3	篠路整形外科	整形外科		
	泌尿器科			JCHO 北海道病院	整形外科	2	1
	眼 科			佐藤病院	精神科	19	
	整形外科	28		新川まえだ眼科	眼科		
				篠路眼科	眼科		
北海道泌尿器科	泌尿器科			ささと眼科	眼科	1	
J R 病院	循環器			耳鼻咽喉科麻生病院	耳鼻科		
心臓血管クリニック	循環器	2		札幌優翔館病院	循環器		
札 幌 道 都 病 院	内 科			新道東フレンド整形	整形外科		
	外 科			川嶋泌尿器科	泌尿器		
篠 路 皮 膚 科	皮 膚 科	11		札幌市立病院	循環器		
楨心会病院	脳外科	3		麻生耳鼻科	耳鼻科		
日 の 出 歯 科	歯 科	24		合 計		440	5
中村記念病院	脳外科	1		昨年度		537	13

※ 入院理由内訳 ・内科/肺炎・心不全 循環器/ペースメーカー植込術 眼科/白内障

⑫ 診療科別入通院状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月	科 区分	内 科	外 科	整形 外科	皮膚 科	泌尿 器科	循環 器科	脳外 科	婦人 科	精神 科	耳鼻 科	眼 科	歯 科	そ の 他	計	昨 年 度
		科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科
4	入 院														0	0
	通 院	25		6	1					2			1		25	45
5	入 院			1											1	0
	通 院	54		3	1					2					60	42
6	入 院														0	1
	通 院	28		2	1					1			2		34	46

7	入 院														0	0
	通 院	24		3	1			1		2					31	52
8	入 院														0	2
	通 院	22		5	1					1					29	46
9	入 院	1													1	1
	通 院	26		7	1					2					35	40
10	入 院	0													0	2
	通 院	23		4	1					4			1		32	50
11	入 院														0	2
	通 院	30		1	1					1			3	1	37	40
12	入 院	1													1	0
	通 院	27		1	1					1			1	1	32	44
1	入 院														0	3
	通 院	23			1					1			4		29	43
2	入 院	1													1	1
	通 院	30		1	1					1			5		38	46
3	入 院													1	1	1
	通 院	32			1					1		1	2	1	38	43
入 院 計		3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	13
通 院 計		344	0	24	12	0	0	1	0	19	0	1	19	3	423	537

⑬ ボランアの受入れ状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分	内 容	前年度実績	年間件数	主 な 団 体 名
技術奉仕	縫い物など	有・無	0	
作業奉仕	シーツ交換・食事配膳他	有・無	0	
介助奉仕	行事手伝い・移動介助・クラブ活動手伝い他	有・無	0	
指導奉仕	なし	有・無	0	
そ の 他	話し相手他	有・無	0	

⑭ クラブ活動状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（1回平均・単位人）

クラブ名	参 加 人 員			指導者等	開催状況
	ゆり	かっこう	計		
フラワーアレンジメント教室	1	3	4	フラワーひまわり 野宮 徳一氏	月1回（水）
音楽療法	9	9	18	音楽療法士 中村 世梨奈 氏	月2回（火）PM

⑮ 要介護度別稼働状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（1回平均・単位：人）

介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	昨年度
要介護1	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	0
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	24
	計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	49	24
要	男	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	41	36

介護 2	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	32
	計	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	65	68
要介 護 3	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
	女	5	5	5	5	5	5	5	3	3	2	2	2	47	53
	計	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	3	3	50	53
要介 護 4	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33	46
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33	58
要介 護 5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	2	19	10
	計	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	2	19	10
総 合 計	男	4 (88)	4 (124)	4 (120)	4 (124)	4 (124)	4 (120)	4 (124)	5 (147)	5 (155)	6 (167)	6 (168)	7 (217)	57 (1678)	49 (961)
	女	14 (413)	14 (407)	14 (420)	14 (434)	14 (434)	14 (419)	14 (404)	13 (390)	13 (380)	12 (372)	12 (328)	11 (297)	159 (4698)	164 (5325)
	合計	18 (540)	18 (534)	18 (540)	18 (551)	18 (545)	18 (510)	18 (516)	18 (454)	18 (519)	18 (547)	18 (482)	18 (548)	216 (6376)	213 (6,286)
	稼働率	92.76	95.12	100	100	100	99.81	94.40	99.44	95.85	96.57	98.40	92.09	97.04%	94.43%

※数字は延べ人員（ ）内は実利用者数

⑩ 行事報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月日	行事名	参加者	内容	反省・特記事項
4月17日 (木)	4月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットにてお食事を をする。	職員によるフラダンスの余興を披露 し一緒に踊って楽しまれていま した。
5月5日 (月)	こどもの日 (端午の節 句)	両ユニット	日本の伝統行事である子 供の日をお祝いし楽しん で頂く	・ゲームは鯉のぼりゲームを行い楽 しまれていた様子でした。
5月16日 (金)	5月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	職員による余興で紙芝居をし、皆様 真剣に聴いておられました。
6月16日 (月)	6月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	職員によるマジックショーの余興を 不思議そうな表情や驚いた表情でご 覧になっていました。
7月22日 (火)	7月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	盆踊りを皆様と踊り、楽しまれてい た様子でした。
7月29日 (火)	野外食	両ユニット	各ユニットにてジンギス カンを焼いて召し上がり 頂き食後にはスイカの 提供を行った	気温が高かった為、屋内での開催と なったが皆さんにジンギスカンを焼 いている所をご覧頂きながら普段と 違う雰囲気の中で過ごされ食事を楽 しまれて頂けた様子でした。
8月9日 (土)	夏祭り	両ユニット	特養デイルームにて出店 やくじ引き、ゲームに参 加される。	焼きそばや綿あめ等召し上がり、ゲ ームや盆踊り、抽選会に参加され楽 しまれた様子でした。
8月20日 (水)	8月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	職員によるよさこいの余興を披露 し、掛け声と一緒に踊られる方もお り楽しまれていました。

9月13日 (土)	敬老祝賀 会	両ユニット	白寿1名 記念撮影、お祝いの品を 贈呈する。食事会后、両 ユニットで歌の合唱とゲ ームを行った。	ご家族様にもゲームに参加して頂き ました。職員による余興では早飲み や顔を真っ白にして飴玉探しを行な いたくさん笑って頂けた様子でし た。
9月18日 (木)	9月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットにてお食事会 をする。	職員による切り絵の余興を楽しまれ た様子でした。
10月20日 (月)	10月誕生会	両ユニット	誕生者3名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする	職員によるバルーンアートの余興を 楽しまれた様子でした。
10月28日 (火)	デザートバ イキング	両ユニット	各ユニットにて南瓜しる こやパンケーキ、ゼリー を召し上がって頂く。	お好きなデザートを選んで頂き、甘 いものからしょっぱいものまであ り、最後まで飽きずに楽しませてい ました。
11月17日 (月)	11月誕生会	両ユニット	誕生者1名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	職員による余興で2人羽織り、マジ ックショーを披露し楽しまれた様子 でした。
12月16日 (火)	12月誕生会	両ユニット	誕生者なし 各ユニットにてお食事会 をする。	職員と一緒に冬の歌の合唱を楽しま れました。
12月24日 (水)	クリスマス 会	両ユニット	各ユニットにてゲームや 歌の合唱、クラッカーを 鳴らして頂く。	ローストチキンやクリスマスケー キ、シャンメリは普段とは違うメニ ューで喜ばれた様子でした。サンタ クロースに扮した職員からのコップ のプレゼントに皆様喜ばれた様子で した。
1月16日 (金)	餅つき	両ユニット	かっこうユニットにて恒 例行事となった餅つきを 行いました。	毎年楽しみにされている方や、初め て参加される方も昔ながらの行事に は馴染みがある様子で張り切って参 加されていました。餅もおいしいと たくさん召し上がっていました。
1月21日 (水)	1月誕生会	両ユニット	誕生者4名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	職員による余興でハンドベルの演奏 を披露し、口ずさまれたり、リズム をとりながら楽しまれた様子でした。
2月3日 (火)	節分行事	両ユニット	・節分の由来を説明した 後、歌の合唱行い鬼退治 ゲームを行った。終了後 鬼が登場し豆まきを行っ た。	鬼が登場すると楽しそうに豆まきを されていました。季節の雰囲気を感じ てもらえてた様子でした。
2月20日 (金)	2月誕生会	両ユニット	・誕生者2名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	音楽療法の日だった為、歌の合唱や 楽器の演奏をして楽しまれていました。
3月3日 (火)	ひな祭り	両ユニット	ひなまつりの由來說明 後、「うれしいひなまつ り」を合唱しゲーム行う	ゲームではピンボール投げゲームに 参加され、皆様真剣に狙っており楽 しまれた様子でした。
3月19日 (木)	3月誕生会	両ユニット	誕生者2名 各ユニットにて誕生者の お祝いをする。	職員による切り絵の余興を披露し、 真剣にご覧になり完成した時には歓 声が上がっていました。

⑪ GH来訪者面会状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

月	目 的				合 計	昨年度
	面 会	見 学	相 談	その他		
4	40	0	0	0	40	20
5	32	0	0	0	32	26
6	41	0	0	0	41	27
7	36	0	0	0	36	25
8	48	0	0	0	48	7
9	40	0	0	0	40	24
10	39	1	0	0	39	28
11	50	0	0	0	50	31
12	37	0	0	0	37	19
1	35	0	0	0	35	5
2	31	0	0	1	31	22
3	37	0	0	0	37	19
合 計	252	0	0	1	466	253

⑫ 運営推進会議報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日（単位：人）

実施月	開催回	実施日	実施内容	参加人数
5月	R7年度第1回	5/27	令和6年度事業報告について	11名
7月	R7年度第2回	7/30	熱中症・食事衛生管理について	8名
9月	R7年度第3回	9/30	防災災害対応策について	10名
11月	R7年度第4回	11/25	認知症ケアについて	9名
1月	R7年度第5回	1/17	感染症対応策について	14名
3月	R7年度第6回	3/25	令和6年度アンケート集計報告 高齢者虐待について	9名

Ⅲ 各委員会報告

1 広報委員会

(1) 活動内容

- ・施設全体におけるその活動の広報、機関紙発行
- ・ホームページの運営

(2) 反 省

広報誌については、期限を守り発行することが出来ていた。ホームページについては、継続的に情報発信をすることが出来なかったため、今後は在宅部門、施設部門問わずそれぞれ適宜発信していく必要がある。ホームページの写真等を入れ替えていく+

今後は、外出レク等の屋外活動や、地域向けのお知らせや情報も掲載していくことで外部への情報発信も強化していく必要がある。

(3) R8年度活動予定

- ・施設内の広報誌の発行（年4回予定）
- ・ホームページを活用し、工夫したお知らせを定期的に行う。

2 身体拘束廃止・虐待防止委員会

(1) 活動内容

- ・身体拘束・虐待の状況把握(コールマット、サイドレール等の使用状況や傷・痣に伴う虐待へと繋がる可能性の把握と防止)
- ・身体拘束・虐待防止の研修(個人ワーク、事例検討等)

(2) 反 省

- ・介護ミスによる傷や痣も見られたが、傷・痣にならないようセクション毎に常に意識できており、委員会内で書面にて報告する事ができた。
- ・委員会内で事例検討を行い、身体拘束廃止や虐待防止について意識して取り組むことができた。来年度は委員会内だけではなく、個人ワークも含めて職員全体が定期的に勉強できる内容にしていく。

(3) R8年度活動予定

- ・身体拘束・虐待の状況把握、施設内における不適切なケアについて、身体拘束廃止・虐待防止について・定期的に勉強会、研修の実施していく。

3 研修委員会

(1) 活動

- ・毎月1回の施設内研修実施と施設外研修により、職員の資質向上を目的とし行う。

(2) 反 省

- ・年間予定通りに研修を実施する事ができなかったが各委員会と協力し合い研修を実施することが出来た。
- ・また、各部署に行って欲しい研修を事前にアンケートを取ることで、現状に即した研修をする事が出来たと思う。
- ・介護職員の参加が少なかったので、開催方法及び参加できなかった人にも対策も改善することが必須と思われる。

(3) R8年度活動予定

- ・新採用者への研修の実施の継続及び職員の基礎知識・介護技術向上の研修を行う。
- ・研修について、セクション別、各ユニット別など、少人数での研修及び実技を複数回行うなど検討していきたい。
- ・外部研修への積極的参加の促しと参加を行う

4 行事実行委員会

(1) 活動内容

- ・行事の企画
- ・各セクションへの行事内容の伝達
- ・行事の反省により既存の行事の充実
- ・個別誕生会の企画・実施・報告

(2) 反 省

- ・新型コロナウイルスの感染予防対策により、施設全体で集まって行う行事は中止をしており、各セクション毎の実施を行った。誕生会では各セクション・各ユニットごとで余興やレクレーションなどを行っているも、当日に企画する事があるため事前に決めていけるようにしていく。
- ・各ユニットで行事の実施ができるよう、時間や場所を分けて対応できた。夏祭りはご家族を呼び開催する事ができた。人数に限りがあったがバスレクを行う事ができた。来年度は時期をずらたくさんの方が外出できるように企画していく。

- ・個別誕生会は担当職員のシフト等によって誕生月に実施できない事があり、共通の用紙を作成し管理できるよう対応したが、実施できないまま退所されてしまう入所様が数名いらっしゃった。

(3) R8 年度活動予定

- ・行事の立案、反省
- ・個別誕生会の企画・実施・報告の確認

5 防災・災害対策委員会

(1) 活動内容

- ・施設全般における防災計画、非難訓練の計画と実施、災害時の対策に関すること。
- ・防災訓練について、年2回、うち一回は防災協会立会にて実施。
- ・BCPの研修、机上訓練を実施した。

(2) 反 省

- ・防災協会立会のもと防災訓練を実施した。昨年の反省を活かし、声掛け避難誘導等きちんと実施できていた。今後も継続していく。

(3) R8 年度活動予定

- ・防災、災害訓練の実施、防火管理自主チェック表活用による職員への防災意識強化

6 給食委員会

(1) 活動内容

- ・施設で提供する食生活全般に関すること。
(行事食の内容検討、日常の食事について意見交換と改善に向けての検討)

(2) 反 省

- ・物価高騰が続き、献立の見直しと共に、お米など食材の変更も行わざるを得なかった。
変更した内容について、検食簿のコメントからだけではなく、入居者様や利用者様の感想や反応を委員から聞き取れる事が少なかった。
- ・食器の入れ替えはできず、汚れについての指摘を受ける事もあった。

(3) R8 年度活動予定

- ・食事についての意見交換。行事食の実施。食器の検討。

7 事故防止対策委員会

(1) 活動内容

- ・施設内で発生した事故について、防止策を検討。共有方法の再考を行った。
- ・事故、ヒヤリハット件数の把握
- ・特養、GHの事故発生時、フロア内への周知方法を明確化
- ・勉強会の実施

(2) 反 省

- ・事故発生に対し、事故報告書が5日以内に提出されない事が多かった為、今後の記入から提出までの流れの再考が必要と思われる。
- ・ICTの活用により、事故の件数は減少したが、同じ入居者による事故が続いてしまう傾向があった為、委員会内で検証などを行い、再発防止に努める必要がある。

(3) R8 年度活動予定

- ・事故件数のデータ化をほのぼのソフトを使用できるように対応する。
- ・事故報告書、事故評価表、体制の整備。

- ・ 困難ケースにおける検討会の開催。
- ・ 車椅子の保管、修繕方法の検討、実施。

8 感染対策委員会

(1) 活動内容

- ・ 感染症発生状況及び施設内環境の報告をし、情報の共有、対応策の検討・実施を行い感染症の蔓延防止に努めた。
- ・ 感染症の知識を深めるため、施設内研修・委員会の中で勉強会を行った。
- ・ 施設全般における環境衛生などの改善について検討、チェックリストの作成し実施した。
- ・ 陰部洗浄マニュアルの作成、特養事業部の排泄カートの見直しを行った。

(2) 反省

- ・ 入居者様や職員の健康状態の把握を心掛け、体調不良時は看護師への報告が出来た。
- ・ 職員の感染予防策を継続していたが、インフルエンザ、風邪、ノロウイルス、新型コロナウイルス感染症の発生し、蔓延してしまった。また、風邪の蔓延・悪化により、入院患者が増加してしまった。

(3) R8 年度活動予定

- ・ 感染症はなくならないことを意識し、感染委員会のメンバーが中心となり、全職員の意識を高めていく。
- ・ 感染症予防に関する研修を行い、知識を深め、感染症発生時、蔓延防止に努めることが出来るよう、全職員への指導を行う。
- ・ チェックリストを用いて、施設内環境の点検、改善について、感染対策委員が主体的に活動していく。

9 褥瘡対策チーム会議

(1) 活動内容

- ・ 施設全般における褥瘡予防に関すること
- ・ 褥瘡の知識を深めるため、褥瘡委員が中心となり、勉強会の開催を行った。
- ・ 各部署の褥瘡発生者について、報告・経過などについて委員会内で話し合いを行った。

(2) 反省

- ・ 報告書を活用し、褥瘡発生状況や予防対策等の把握を行った。委員会内だけではなく、日常でも報告書を活用できるよう実施した。
- ・ 褥瘡発生予防に努めたが褥瘡の発生が多く、また繰り返し褥瘡が発生された方もいた。直接ケアに携わる職員への声掛け、指導も行い減少される期間もあった。
- ・ 委員中心となり、勉強会を行い知識の向上をはかった。

(3) R8 年度活動予定

- ・ 褥瘡発生の危険因子とモニタリング指標の評価、予防計画書の作成により、入居者の褥瘡発生リスクの管理、および褥瘡予防策を継続実施する。
- ・ 褥瘡発生状況の把握を行い、褥瘡予防策、発生時の褥瘡ケアを実施する。
- ・ 一人一人の褥瘡ケアや予防に関する知識や技術の向上を目指して、勉強会を行う。
- ・ クッションやマット等の物品の管理を委員が中心となっていく。

10 安全衛生委員会

(1) 活動内容

- ・ 職員の安全健康の確保、職場環境に関すること。
- ・ 9月～健康診断（1回目）を実施した。
- ・ 2月～健康診断（2回目）を実施した。
- ・ インフルエンザ予防接種を実施した。
- ・ ストレスチェックを実施した。
- ・ 労災事故について、発生状況の確認・再発防止策の検討等を行った。
- ・ 福利厚生センターより情報提供を行った。

(2) 反省

- ・ 職場内の環境改善について、各セクションより意見を頂き改善することが出来た。
- ・ 福利厚生センターより年金や労災、健康増進事業についての情報提供を行った。

(3) R8年度活動予定

- ・ 職員の安全健康の確保、職場環境に関すること。
- ・ 福利厚生センターからの情報提供。
- ・ 各健康診断の実施、インフルエンザ予防接種の実施、ストレスチェックの実施

11 相談員連携会議

(1) 活動内容

- ・ 各部署の相談状況などの報告
- ・ 迅速な連携を図るための相談状況など情報共有
- ・ 業績をあげるための方法や方策を検討する

(2) 反省

- ・ 下半期の会議から、テーマをもとに検討することを始めたことにより、会議メンバー間で具体的な意見出し合うことができ、情報共有が図られた。また、方向性を統一した連携が図られた。

(3) R8年度活動予定

- ・ 各部署の相談状況などの報告を行い、施設の現状を確認、共有することで、対応策を検討し、稼働率の上昇やスムーズな入所につなげていく。
- ・ 地域向けの公開講座など情報発信を行い、広く多くの地域住民に法人のサービスを浸透させ、各サービスへと繋げていく。